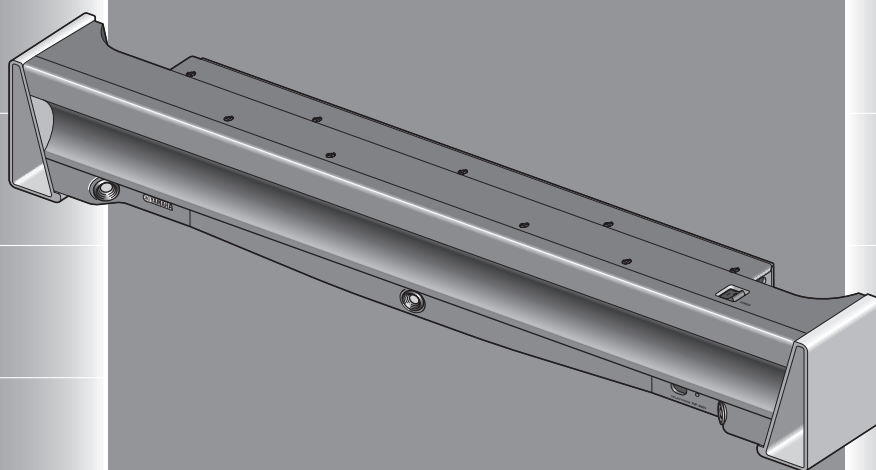




PJP-300V

テレビ会議システム

ProjectPhone



はじめに

準備する

通話する

その他の操作

パソコンと接続する

困ったときは

付録

取扱説明書

ヤマハ PJP-300V をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。

本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。

本書はなくさないように、大切に保管してください。

安全上のご注意

本機を安全にお使いいただくために

以下の点を必ず守ってお使いください。

安全のための注意事項を守る

詳しくは、7～9ページをご覧ください。

故障したら使用を中止する。

お買い上げの販売店またはヤマハのお問い合わせ窓口(99ページ)にご連絡ください。

マークの意味

本書では、本機を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項に次のマークを表示していますので、必ずお読みください。

警告

人体に危険を及ぼしたり、装置に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。

注意

機能停止を招いたり、各種データを消してしまう可能性があることを示しています。十分注意してください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体や「WEB設定ページ」の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本機を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本機の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

はじめにお読みください

お買い上げいただき、ありがとうございます。本機はインターネットなどのネットワークを経由して、同時通話を可能にするテレビ会議システムです。

付属品をご確認ください

- リモコン(1個)
- 単3電池(2本)
- ACアダプター (1個)
- 電源コード(1本)
- LANケーブル(1本)
- ステレオオーディオケーブル(1本)
- S端子ケーブル(1本)
- 取扱説明書(本書)(1冊)
- 保証書(1枚)

本書の主な内容

本機をVC1と接続して使用する

本機をVC1経由でネットワークに接続して使用する場合は、こちらをご覧ください。

必要な準備についての情報

- 準備する ▶19ページ

テレビ会議を行うための情報

- 通話相手呼び出す ▶36ページ
- 呼び出しを受ける ▶43ページ

その他、本機の機能を使いこなすための情報

- 本機とVC1の設定を変更する ▶51ページ
- 本機とVC1の設定項目一覧 ▶55ページ

本機をパソコンと接続して使用する

本機をパソコン経由でネットワークに接続して使用する場合は、こちらをご覧ください。

必要な準備についての情報

- 準備する ▶79ページ

その他、本機の機能を使いこなすための情報

- 本機の設定を変更する ▶85ページ
- 本機の設定項目一覧 ▶87ページ

問題が発生した場合に、問題を解決するための情報

- 困ったときは ▶93ページ
- サポート窓口のご案内 ▶99ページ

その他、本書には多くの情報が記載されています。
詳しくは目次をご覧ください。

▶ 4 ページを
ご覧ください。

目次

安全上のご注意.....	2
はじめにお読みください	3
⚠ 警告	7
⚠ 注意	8
使用上のご注意	9
本書の表記について	10
本製品のお客さまサポートについて(サポート規定)	11

はじめに

PJP-300Vでできること	13
本機をVC1と接続してできること	13
本機をパソコンと接続してできること	13
各部の名称とはたらき	14
右側面	14
左側面	15
リモコン	16

準備する

準備の流れ	19
準備を始める前にご確認ください	20
会議室に設置する	21
設置時のご注意	21
本機をVC1に接続して使用する	22
接続する	22
初期設定を登録する	27
ネットワーク設定を登録する	30

通話する

通話相手呼び出す	36
アドレス帳から相手呼び出す場合は	39
通話履歴から相手呼び出す場合は	41
呼び出しを受ける	43
通話中にトーン信号を発信する	45

その他の操作

通話の表示を操作する	46
画面表示を切り替える	46
通信状態を表示する	48
静止画を送信する	48
カメラを操作する	49
本機カメラを操作する	49
相手カメラを操作する	50
本機とVC1の設定を変更する	51
リモコン操作で設定を変更する	51
「WEB設定ページ」で設定を変更する	54
本機とVC1の設定項目一覧	55
ネットワーク設定	55
映像設定	58
サウンド設定	60
環境設定	61
管理者設定	63
アドレス帳を編集する	64
リモコン操作で編集する	64
「WEB設定ページ」から編集する	66
ゲートキーパーを使用する	67
ゲートキーパーの情報を登録する	67
SIPサーバーを使用する	69
SIPサーバーの情報を登録する	69
会議情報を登録する	71
最新の機能を利用する(リビジョンアップ)	72
本機をリビジョンアップする	72
VC1をリビジョンアップする	75
本機やVC1の設定を初期化する	77
リモコン操作で初期化する	77
「WEB設定ページ」から初期化する	78

パソコンと接続する

本機をパソコンに接続して使用する	79
接続する	79
VC1との連動を解除する	81
パソコンの設定を変更する	82
本機の設定を変更する	85
リモコン操作で設定を変更する	85
「WEB設定ページ」から設定を変更する	86
本機の設定項目一覧	87
最新の機能を利用する(リビジョンアップ)	90
本機を自動的にリビジョンアップする	90
本機を手動でリビジョンアップする	92

困ったときは

故障かな?と思ったら.....	93
お問い合わせの前に	93
それでも問題が解決しない場合は	93
Q1: LED類が消灯している	94
Q2: 「WEB設定ページ」で設定できない	95
Q3: 通話できない	96
Q4: その他の問題.....	98
サポート窓口のご案内.....	99
お問い合わせの前に	99
お問い合わせ窓口.....	99

付録

ソフトウェアライセンス契約	100
主な仕様	101
本機を譲渡/廃棄する際のご注意	102

警告

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機(付属品を含む)は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠していません。
- 本機は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。
本機を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 付属の電源コードは国内用です。AC100Vのコンセントに接続して使用してください。
- 本機から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、および電源コードが発熱しているときは、直ちに電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源コードを触らないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 電源コードの上に重いものを載せたり、電源コードをステーブルで止めたりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 安全のため、電源コードは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。家具の後ろなど手の届かない場所にあるコンセントには接続しないでください。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 電源を入れたままケーブル類を接続しないでください。感電や故障、本機および接続機器の破損の恐れがあります。
- 本機のポートに指や異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。
- 本機を他の機器と重ねて置かないでください。熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源コードやケーブル類を取り外し、使用をお控えください。落雷によって火災や故障の原因となることがあります。
- 本機を下記の場所には設置しないでください。水滴の混入により、火災や感電の原因となります。
 - － 浴室、加湿器を適度にきかせた部屋など
 - － 雨や雷、水がかかるところ

注意

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機のコネクタ部分には直接手を触れないでください。本機は静電気に敏感な部品を使用しているため、部品が故障する恐れがあります。コネクタの接点、部品などを素手で直接触れないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的にふき取ってください。ほこり等が付着した状態で使用すると、故障や動作不良の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、故障や動作不良の原因となります。
- 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、電源コードをコンセントから抜き、乾燥させ、充分室温に慣らしてから使用してください。
- ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- アースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。アース接続は必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源コードをコンセントから取りはずしてから行ってください。
- 本機を修理や移動等の理由により輸送する場合には、必ず本機の設定を記録しておいてください。

使用上のご注意

- 本機の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 誤動作や故障により本機の記録内容が変化・消失する場合があります。通話履歴などの重要なデータはお客様の責任のもと、定期的に記録されることをお奨めいたします。
- 本機のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本機の設置場所、向きを変えてみてください。
- 本機を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- 本機を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。または、お住まいの自治体の指示に従ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波について

JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

本書の表記について

略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- YAMAHA PJP-300V : 本機
- YAMAHA PJP-VC1 (別売) : VC1
- 10BASE-T (100BASE-TX) ケーブル : LAN ケーブル

設定例について

本書に記載されているIPアドレスやドメイン名などの設定例は、説明のためのものです。実際に設定するときは、必ず実際のネットワーク構成に合わせた設定値をお使いください。

詳細な技術情報について

本機を使いこなすためには、インターネットやネットワークに関する詳しい知識が必要となる場合があります。付属のマニュアルではこれらの情報について解説しておりませんので、詳しくは市販の解説書などを参考にしてください。

商標について

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Microsoft Excelは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。

本製品のお客様サポートについて

(サポート規定)

ヤマハ株式会社は、本製品を快適に、またその性能・機能を最大限に活かしてご利用いただけますよう、以下の内容・条件にてサポートをご提供いたします。

1. サポート方法

- ①FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例等のWeb掲載
- ②電話でのご質問への回答
- ③お問い合わせフォームからのご質問への回答
- ④カタログ送付
- ⑤代理店・販売店からの回答

ご質問の内容によっては、代理店・販売店をご案内し、ご回答させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

2. サポート項目

- ①製品仕様について
- ②お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について
- ③簡易なネットワーク構成での利用方法について
- ④製品の修理について
- ⑤代理店または販売店のご紹介

3. 免責事項・注意事項

- ① 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、及び回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。

また、サポートの結果又は製品をご利用頂いたことによって生じたデータの消失や動作不良等によって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益等を含む損失及びそれらに付随的な損失等のあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。

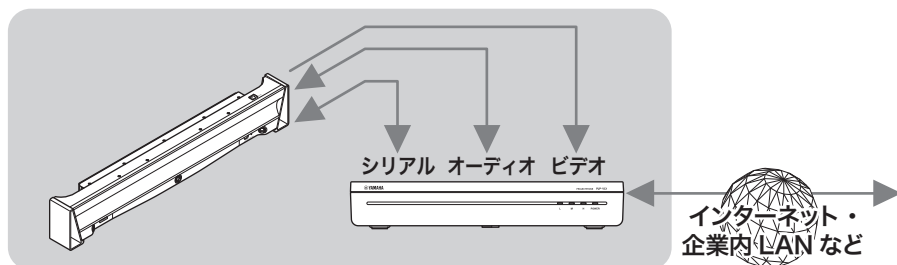
尚、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。但し、契約及び法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。

- ② ファームウェアの修正は弊社が修正を必要と認めたものについて生産終了後2年間行います。
- ③ 実ネットワーク環境での動作保証、性能保証は行っておりません。
- ④ 期日・時間指定のサポート、及び海外での使用、日本語以外でのサポートは行っておりません。
- ⑤ お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
- ⑥ 再現性がない、及び特殊な環境でしか起きない等の事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えない場合があります。
- ⑦ オンサイト保守・定期保守等は代理店にて有償にて行います。詳細な内容は代理店にご確認をお願い致します。
- ⑧ 他社サービス、他社製品、及び他社製品との相互接続に関するサポートは弊社Web上に掲載している範囲に限定されます。
- ⑨ やむを得ない事由により本機の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。尚、交換、返品に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
- ⑩ 製品の修理は代理店・販売店経由で受付けさせていただきます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。発送は弊社指定の通常宅配便(国内発送のみ)にて行わせて頂きます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承のほどお願い致します。尚、保証期間中の無償修理(無償例外事項)等の詳細規定は保証書に記載しております。
- ⑪ 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

PJP-300Vでできること

本機はVC1またはパソコンと接続することで、インターネットや企業内LANなどのネットワークを経由して通話できるテレビ会議システムです。

本機をVC1と接続してできること



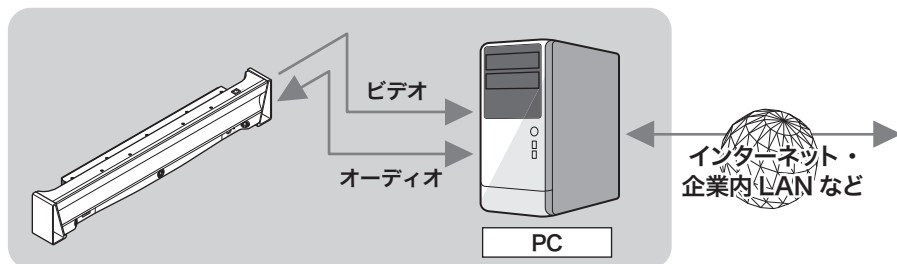
高音質の会議を実現するアレイ型マイク＆スピーカー

利用環境に合わせて收音エリアを柔軟にコントロールできるため、明瞭な会話を実現できます。また、デジタル信号処理による音声制御を行っているため、通話の遅れや途切れによるストレスを感じることなく会議に集中できます。

ネットワークを使用したテレビ会議

インターネットや企業内LANなどのネットワーク経由で、テレビ会議を実現できます。高性能な動画画CODECの搭載により、低い通信速度でも滑らかで高品質な画像を使った通信が可能です。また、話者位置検出機能を3個のカメラと連動させることで、即座に話者方向に映像を切り替え、スムーズな会議の進行をサポートします。

本機をパソコンと接続してできること



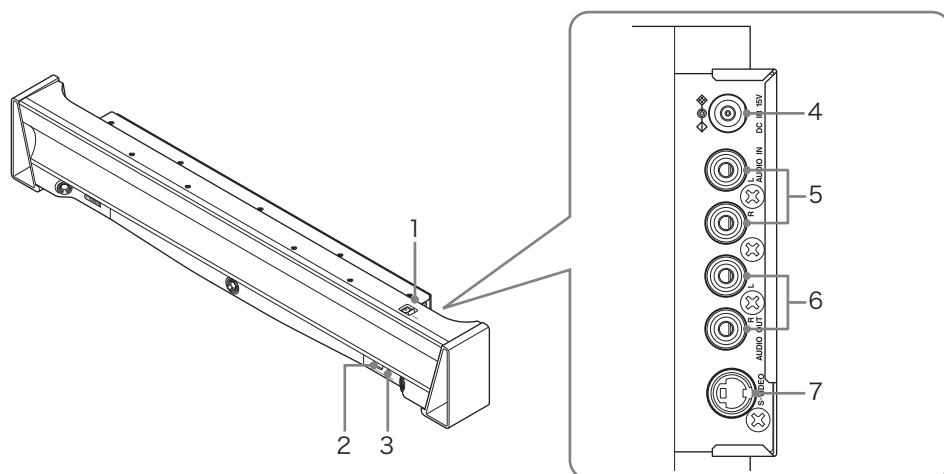
カメラ付きアレイ型マイク＆スピーカー

利用環境に合わせて收音エリアを柔軟にコントロールできるため、明瞭な会話を実現できます。また、話者位置検出機能を3個のカメラと連動させることで、即座に話者方向に映像を切り替え、スムーズな会議の進行をサポートします。

各部の名称とはたらき

右側面

はじめに



① POWERスイッチ

本機の主電源をオン/オフします。

② リモコン受光窓

付属リモコンのコントロール信号(赤外線)を受光します。

③ STANDBY/ONインジケータ

スタンバイ(待機状態) / オンの状態を示します。

- スタンバイ(待機状態)：橙色点灯
- オン：緑色点灯

④ DC IN 15V端子

付属のACアダプターを接続します。

⑤ AUDIO IN端子

音声信号を入力します。

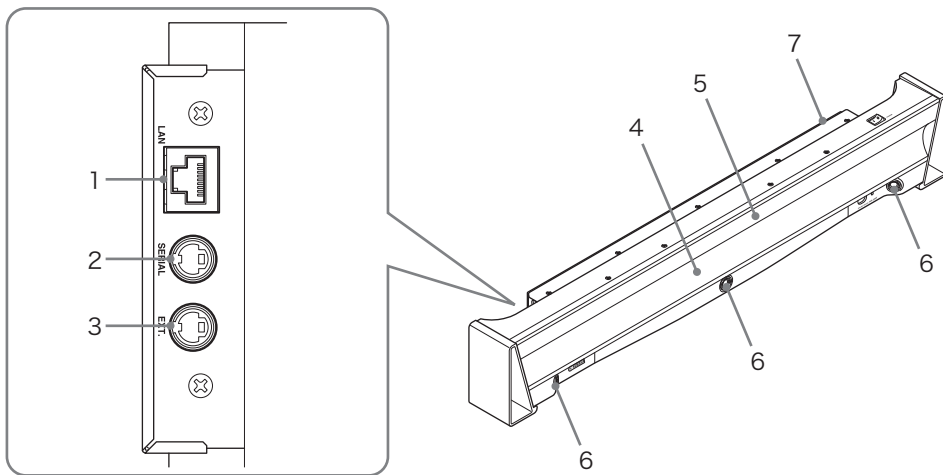
⑥ AUDIO OUT端子

音声信号を出力します。

⑦ S-VIDEO端子

ディスプレイ(テレビやプロジェクターなど)またはVC1に映像信号を出力します。

左側面



① LANポート

パソコンやルーター、HUBなどのネットワーク機器とLANケーブルで接続します。

② SERIAL 端子

VC1のSERIAL端子に接続します。

③ EXT. 端子

将来の拡張用です。

④ アレイスピーカー

通話相手の音声を出力します。14個のスピーカーが配列されています。

⑤ アレイマイク

発話者の音声を取得します。16個のマイクが配列されています。

⑥ カメラ

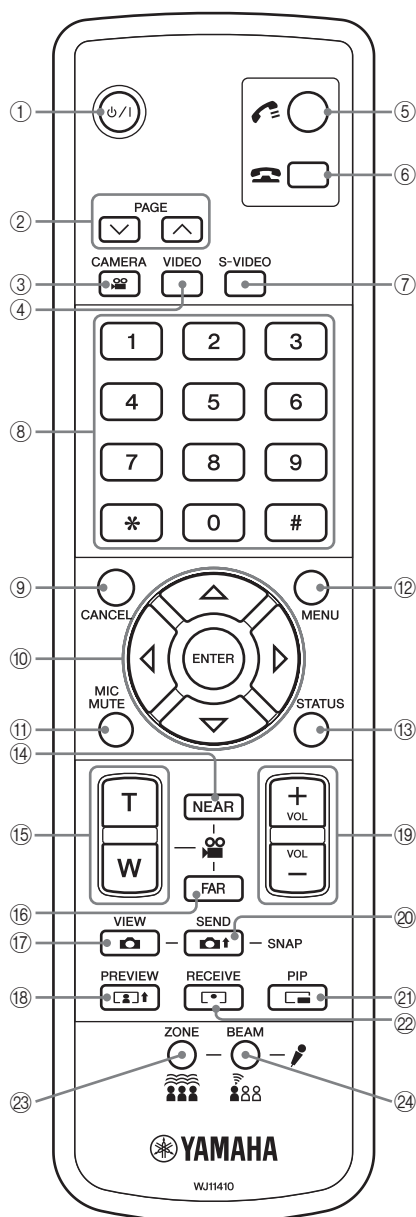
本機側の映像を撮影します。3個のカメラが配列されています。

⑦ 認証ラベル

以下の情報が記載されています。

- 本機の機器名 (MODEL No.)
- 本機の認証番号
- 製品を管理/区分するための製造番号 (シリアル番号)

リモコン



① **⏻/I (電源) キー**

電源のオン/スタンバイ(待機状態)を切り替えます。スタンバイモードでは本機は微量の電力を消費します。

② **ページ** **PAGE キー**

メニューやアドレス帳の内容が1ページに収まらない場合に、ページを切り替えます。また、撮影するカメラ位置(左・中央・右)を切り替えます。

③ **カメラ** **CAMERA キー**

マルチカメラモードのオン/オフを切り替えます。

④ **ビデオ** **VIDEO キー**

VC1のビデオ入力をコンポジット端子に切り替えます。

⑤ **☎ (接続) キー**

指定した相手に発信する際や、相手からの着信を受ける際に押します。

⑥ **☎ (切断) キー**

通話を終了する際に押します。着信時に押すと、着信を拒否することができます。

⑦ **S-ビデオ** **S-VIDEO キー**

VC1のビデオ入力をS端子に切り替えます。

⑧ **数字(0~9、*、#) キー**

通信先の電話番号やIPアドレスなど、数値を入力する際に使用します。

⑨ **キャンセル** **CANCEL キー**

メニュー表示の解除や、文字入力時に文字を削除する際に使用します。

⑩ **カーソル** **キー、ENTER キー**

カーソルキーを押して、設定項目の選択やカメラの操作を行います。ENTERキーを押して、選択した設定項目を確定します。

⑪ ^{マイク ミュート} MIC MUTE キー

本機のマイクを一時的に停止(ミュート)します。
もう一度押すとミュートを解除します。

⑫ ^{メニュー} MENU キー

設定メニュー画面の表示/非表示を切り替えます。

⑬ ^{ステータス} STATUS キー

通信状態画面の表示/非表示を切り替えます。

⑭ ^{ニア} NEAR キー

本機のカメラを操作する際に押します。

⑮ T/W キー

カメラのズームを調節します。

⑯ ^{ファール} FAR キー

相手側のカメラを操作する際に押します。

⑰ ^{ビュー} VIEW キー

送受信した静止画像を表示します。

⑱ ^{プレビュー} PREVIEW キー

送信映像(本機のカメラで撮影している映像)を表示します。

⑲ ^{ボリューム} VOL + / - キー

マイクの音量を調節します。

⑳ ^{SEND} SEND キー

表示されている映像を静止画撮影して、通話先に送信する際に押します。

㉑ PIP キー

PIP (ピクチャーインピクチャー)モードのオン/オフを切り替えます。

㉒ ^{レシーブ} RECEIVE キー

受信映像(相手側のカメラで撮影している映像)を表示します。

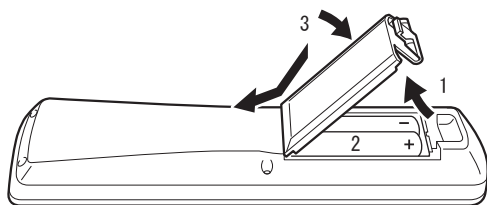
㉓ ZONE キー

通話中、カメラ追尾機能をオフにする際に押します。

㉔ BEAM キー

通話中、カメラ追尾機能をオンにする際に押します。

電池を入れる



1 裏ボタのタブを押さえながら開きます。

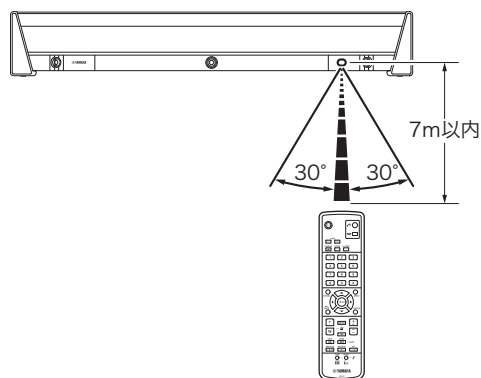
2 +と-の向きを確認して電池を入れます。

3 裏ボタを閉めます。

ご注意

- リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- 単3電池をご使用ください。
- アルカリやマンガンなど、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して廃棄してください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。

リモコンの操作範囲



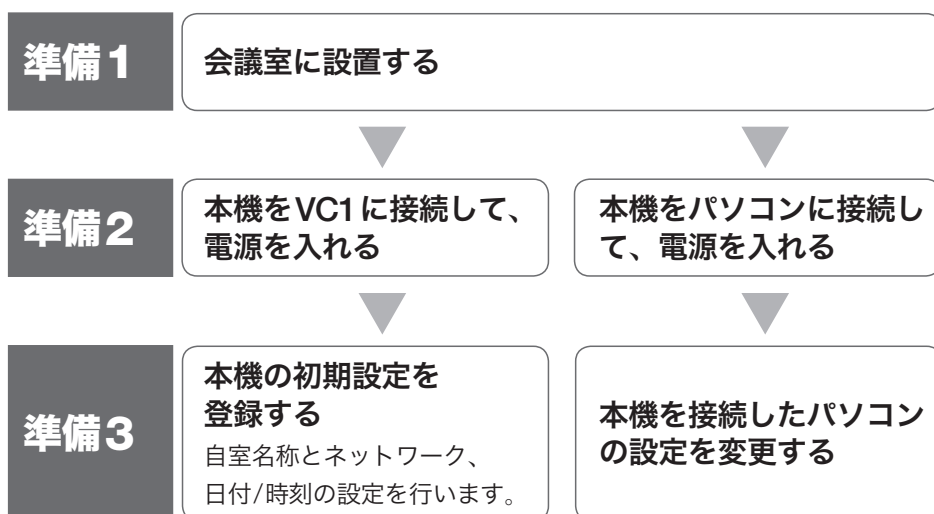
約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- 本機のリモコン操作によって誤作動する機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。
- お茶や水をこぼしたり、落としたりしないようご注意ください。また、温度・湿度の高いところにも置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。強い光が当たっていると、リモコンで正しく操作できない場合があります。

準備の流れ

本機を利用するには、以下の順序で準備を行う必要があります。



💡 ヒント

VC1とは本機をネットワークに接続するための専用通信ボックスです。本機とVC1を接続することでテレビ会議システムとして使用できます。

パソコンから設定操作を行うこともできます

本書ではリモコン操作で準備を行いますが、パソコンから本機の「WEB設定ページ」にアクセスして設定操作を行うこともできます。詳しくは、『「WEB設定ページ」で設定を変更する」(54、86ページ)をご覧ください。

📌 ご注意

会議情報の設定など、「WEB設定ページ」でのみ設定できる機能もあります。

ゲートキーパーを使用する場合は

本機をVC1と接続して使用するときは、ゲートキーパーの設定を行う必要があります。詳しくは「ゲートキーパーの情報を登録する」(67ページ)をご覧ください。

SIPサーバーを使用する場合は

本機をVC1と接続して使用するときは、SIPサーバーの設定を行う必要があります。詳しくは「SIPサーバーの情報を登録する」(69ページ)をご覧ください。

準備を始める前にご確認ください

LANケーブル

10BASE-Tまたは100BASE-TX対応のLANケーブルをご用意ください。

ネットワーク接続機器

本機をネットワークに接続するために、VC1またはパソコンをご用意ください。

ネットワークの情報

本機を導入・設置するために、以下の情報をあらかじめ入手・決定しておいてください。

- 本機とVC1またはパソコンに設定するIPアドレスおよびサブネットマスク
- 本機とVC1またはパソコンが利用するデフォルトゲートウェイおよびDNSサーバーのIPアドレス

ネットワークについてのご注意

- 本機をインターネット経由で使用する場合、基本的にグローバルIPアドレスを取得する必要があります。
- ファイアウォールを設定したネットワークで本機を使用する場合は、ファイアウォール外の機器とは接続できません。ただし、ファイアウォールの設定を変更することで通信できる場合もあります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
- 音声、映像の途切れ等を避けるため、以下の伝送帯域を確保できるネットワークを利用するようおすすめいたします。
 - 上り・下りそれぞれ512kbit/s

ご注意

本機を導入する前に、上記の伝送帯域を確保できるかネットワークの帯域やデータ通信量、ネットワーク機器の性能などを十分ご確認ください。確認せずに導入すると、通話時に音切れや映像切れが発生したりするだけでなく、通話が成立しない可能性があります。

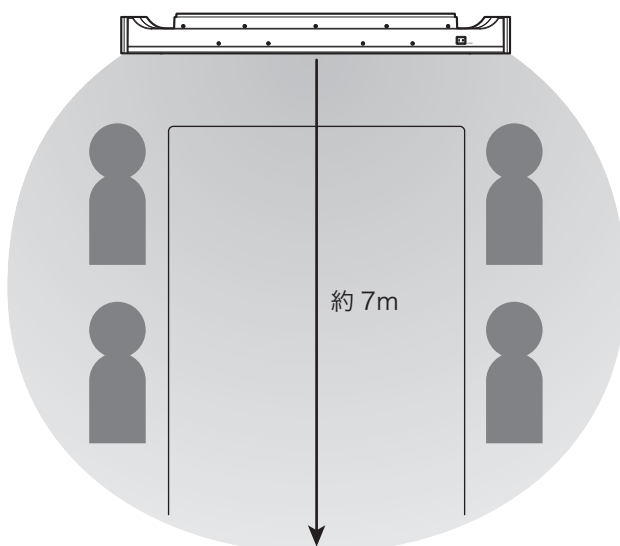
会議室に設置する

本機を実際に使用する場所(会議室など)に設置します。本機の機能を最大限生かして快適なテレビ会議を行うために、以下の説明にしたがって正しく本機を設置してください。また設置工事については、別売りスタンドの取扱説明書をお読みください。

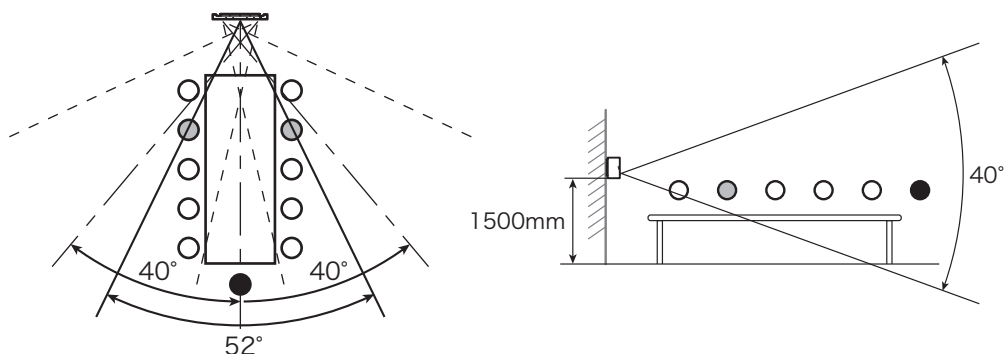
設置時のご注意

発話者の着座位置を考慮して設置してください

- 本機のマイクおよびスピーカーのアレイ効果を最大限生かして明瞭な会話を実現するために、下図の着座位置を参考に設置してください。



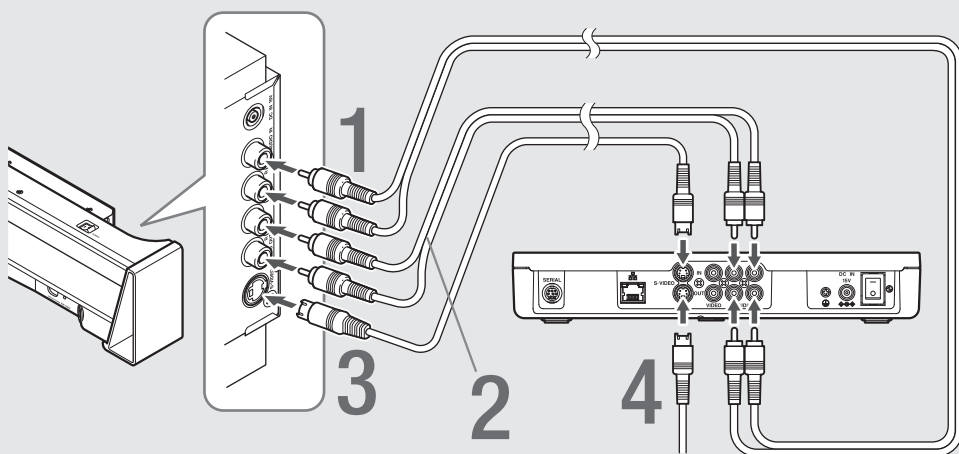
- カメラの機能を最大限生かして明瞭なテレビ会議を実現するために、下図の着座位置を参考に設置してください。



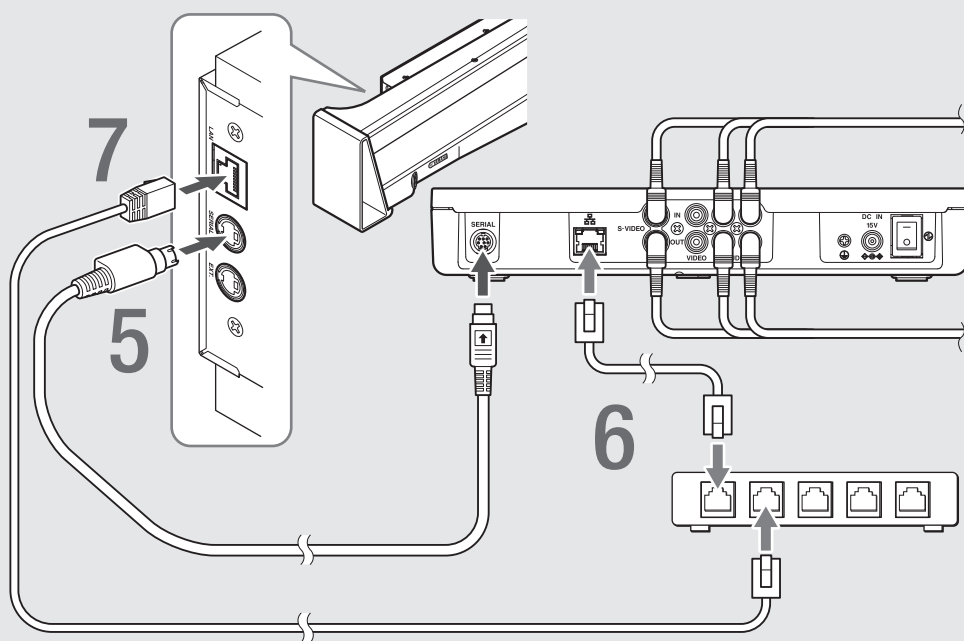
本機をVC1に接続して使用する

接続する

以下の手順で本機を接続します。



- 1 本機のAUDIO IN端子とVC1のAUDIO OUT端子を、ステレオオーディオケーブルで接続する。
- 2 本機のAUDIO OUT端子とVC1のAUDIO IN端子を、ステレオオーディオケーブルで接続する。
- 3 本機のS-VIDEO端子とVC1のS-VIDEO IN端子を、S端子ケーブルで接続する。
- 4 VC1のS-VIDEO OUT端子とディスプレイ(テレビ、プロジェクターなど)のS-VIDEO入力端子を、S端子ケーブルで接続する。



5

本機のSERIAL端子とVC1のSERIAL端子を、シリアルケーブルで接続する。

6

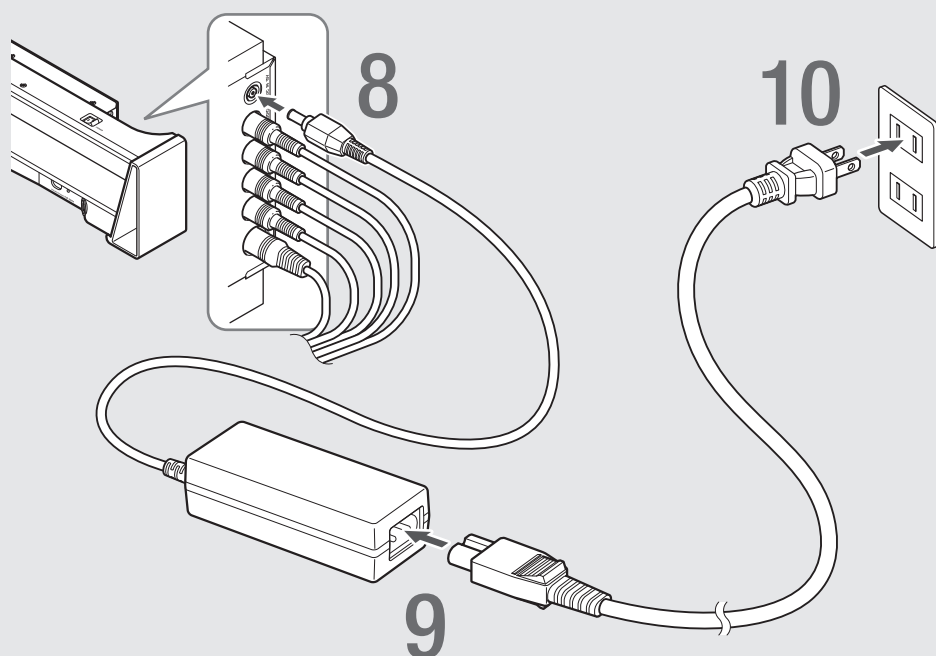
VC1のLANポートとネットワーク機器(ルーターなど)のLANポートを、LANケーブルで接続する。

7

本機のLANポートとネットワーク機器(ルーターなど)のLANポートを、LANケーブルで接続する。

💡 ヒント

本機をネットワークに接続するのは、WEB設定ページとリビジョンアップを利用するためです。



8

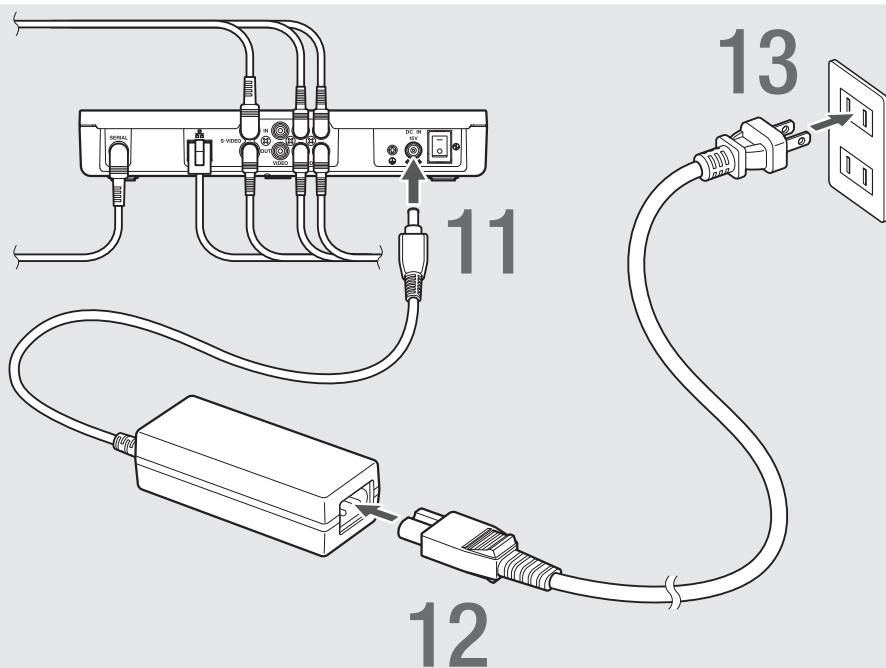
本機のDC IN 15V端子に、ACアダプターを接続する。

9

電源コードをACアダプターに接続する。

10

本機の電源コードをコンセントに接続する。



11 VC1のDC IN 15V端子に、ACアダプターを接続する。

12 電源コードをACアダプターに接続する。

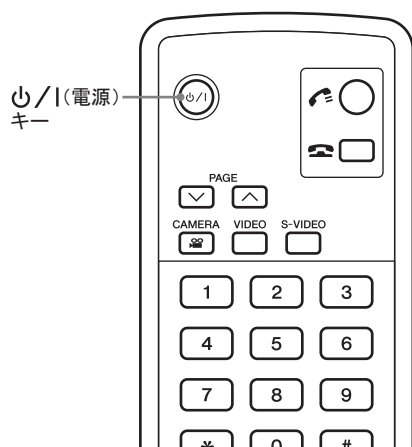
13 VC1の電源コードをコンセントに接続する。

14 本機のPOWERスイッチをオンにします。
STANDBY/ONインジケーターが緑色点灯します。

15 VC1のPOWERスイッチをオンにします。
POWERインジケーターが緑色点灯し、待受け画面が表示されます。
待受け画面



電源のオン/スタンバイを切り替える



準備する

電源をオンにする

- 1 電源キーを押します。

本機の電源がオンに切り替わります。

電源をスタンバイにする

- 1 電源キーを押します。

確認画面が表示されます。

- 2 もう一度 電源キーまたはENTERキーを押します。

本機の電源がスタンバイに切り替わります。

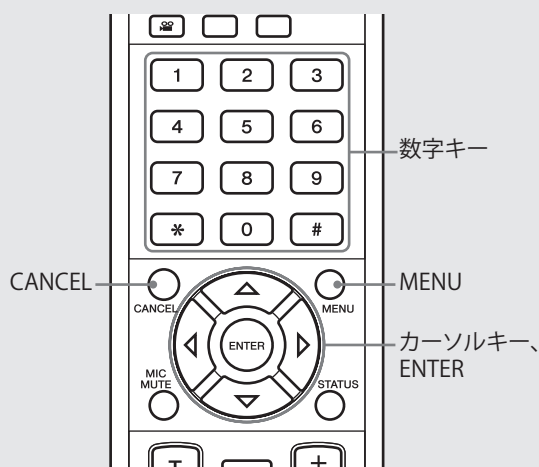
初期設定を登録する

初期設定画面の指示にしたがって、自室名称(本機の端末名)、ネットワーク、日付/時刻の設定を行います。

💡 ヒント

本機の電源を初めて入れたときに、初期設定画面が表示されます。

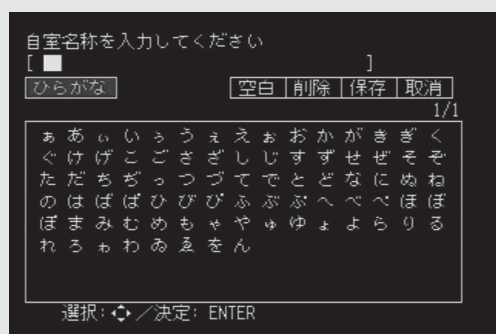
以下の手順で操作します。



1

▲ または ▼ キーを押して「自室名称」を選択し、ENTERキーを押す。

自室名称入力画面が表示されます。



2

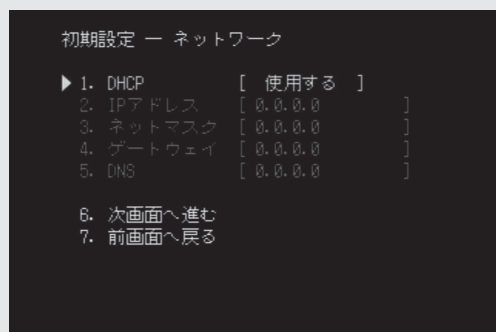
任意の本機端末名を入力する。

・文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

3

▲または▼キーを押して「次画面へ進む」を選択し、ENTERキーを押す。

ネットワーク設定画面が表示されます。



4

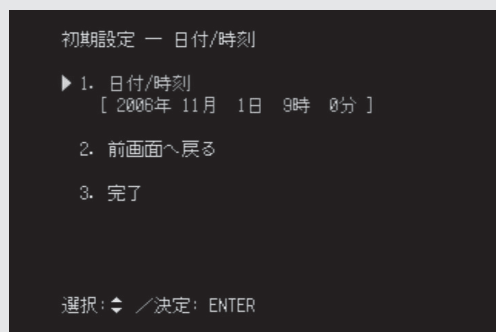
ネットワーク設定を登録する。

- ・ネットワーク設定はDHCPサーバーを使用して自動で取得する方法と、手動で割り当てる方法があります。手動で割り当てる場合は32ページをご参照ください。

5

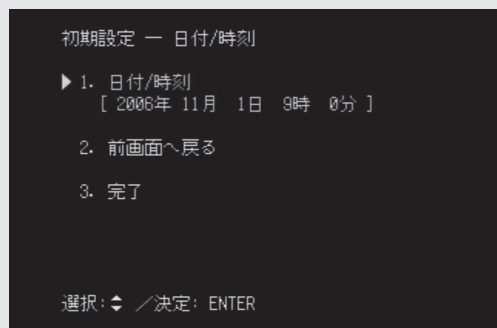
▲または▼キーを押して「次画面へ進む」を選択し、ENTERキーを押す。

日付/時刻設定画面が表示されます。



6

▲ または ▼ キーを押して「日付/時刻」を選択し、ENTERキーを押す。



7

数字キーを使って日付/時刻を入力し、ENTERキーを押す。

💡 ヒント

入力した値を訂正する場合は、◀ キーを押して訂正する位置にカーソルを合わせ、数字キーを使って再入力します。

8

▲ または ▼ キーを押して「完了」を選択し、ENTERキーを押す。

初期設定が完了します。

ネットワーク設定を登録する

本機を設置するネットワークの環境にあわせて、本機とVC1のネットワーク設定(IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびDNSサーバー)を登録します。ネットワーク設定はDHCPサーバーを使用して自動で取得する方法と、手動で割り当てる方法があります。

IPアドレスを自動取得する場合

DHCPサーバーを設置したネットワーク内で本機を使用する場合、特に設定を行う必要はありません(工場出荷状態では、DHCPサーバーからネットワーク情報を取得して、IPアドレスなどの設定を自動的に行います)。

ネットワーク情報が正しく取得されていることを確認する

本機のネットネットワーク情報を確認するには、MENUキーを押して設定メニュー画面から「管理者設定」→「ファームアップデート」→「PJP-300Vファームアップデート」を選択し、正しく割り当てられているか確認してください。また、VC1のネットワーク情報を確認するには、待受け画面で☎またはCANCELキーを押して回線接続画面を表示し、正しく割り当てられているか確認してください。

ここではVC1を例にして説明します。

IPアドレスが表示されている場合は

ネットワーク情報が正しく取得されています。



IPアドレス表示が「????.????.???.'???」と表示される場合は

ネットワーク情報が正しく取得されていません。



画面左下に「LINE」と表示されている場合は

VC1がネットワークに正しく接続されていません。

- LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 接続先のネットワーク機器の状態を確認してください。

画面左下に「DHCP」と表示されている場合は

DHCPサーバーからネットワーク情報を取得できていません。

- VC1とDHCPサーバーとの間に、ネットワーク障害が発生している可能性があります。システム管理者に確認して、ネットワーク上の問題を解決してください。
- 問題が解決しない場合は、32ページの手順に従ってネットワーク情報を手動で登録してください。

IPアドレスを手動で割り当てる場合

DHCPサーバーの設定を「使用しない」に切り替えてから、ネットワーク情報を登録する必要があります。本機とVC1に登録するネットワーク情報を確認してから、行ってください。

ここではVC1を例にして説明します。

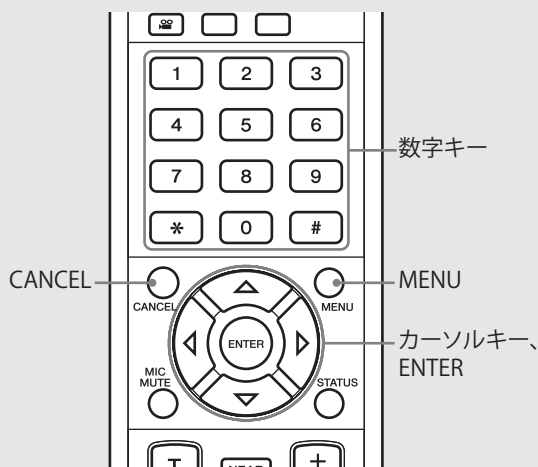
ご注意

本機とVC1には、ネットワーク内で使用されている他の機器のIPアドレスと重複しないIPアドレスを設定してください。

以下の手順にしたがって、VC1のネットワーク情報を登録してください。

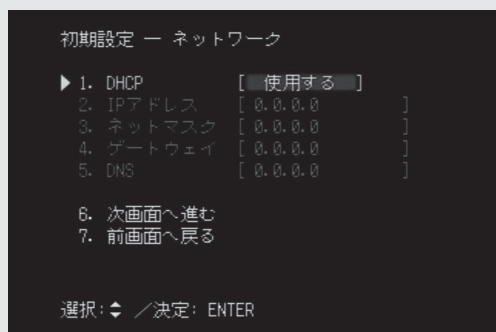
ヒント

本機のネットネットワーク情報は、MENUキーを押して設定メニュー画面から「管理者設定」→「ファームアップデート」→「PJP-300Vファームアップデート」を選択し、PJP-300Vファームアップデート画面で設定してください。



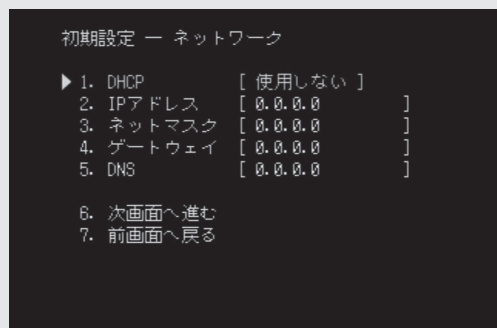
1

▲ または ▼ キーを押して「DHCP」を選択し、ENTERキーを押す。



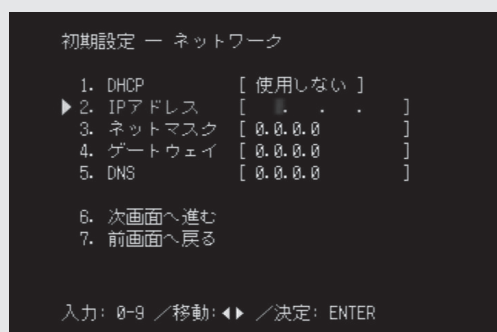
2

▲ または ▼ キーを押して「使用しない」を選択し、ENTERキーを押す。



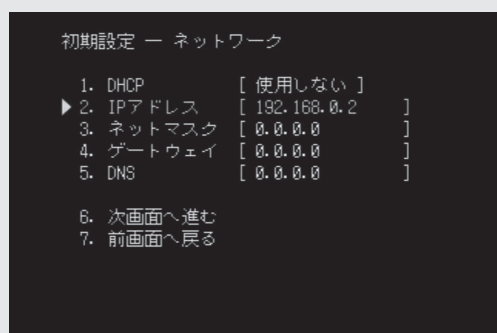
3

▲ または ▼ キーを押して「IPアドレス」を選択し、ENTERキーを押す。



4

数字キーを使ってVC1のIPアドレスを入力し、ENTERキーを押す。

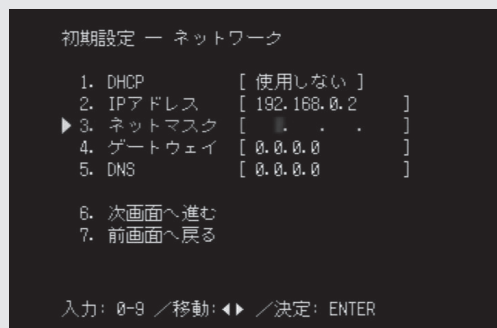


💡 ヒント

入力した値を訂正する場合は、◀ キーを押して訂正する位置にカーソルを合わせ、数字キーを使って再入力します。

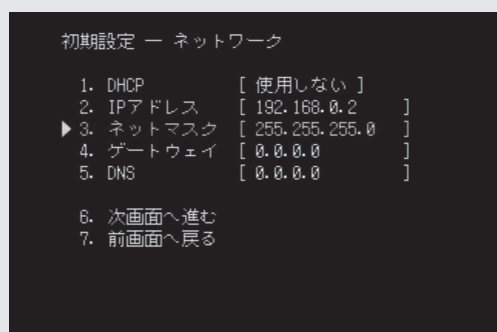
5

▲または▼キーを押して「ネットマスク」を選択し、ENTERキーを押す。



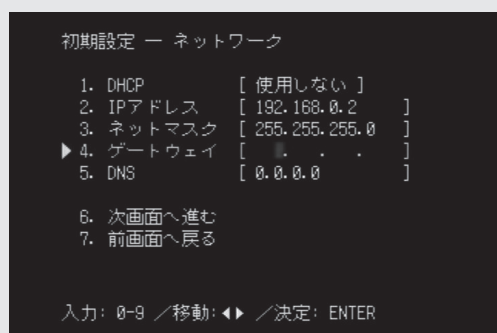
6

数字キーを使ってVC1のサブネットマスクを入力し、ENTERキーを押す。



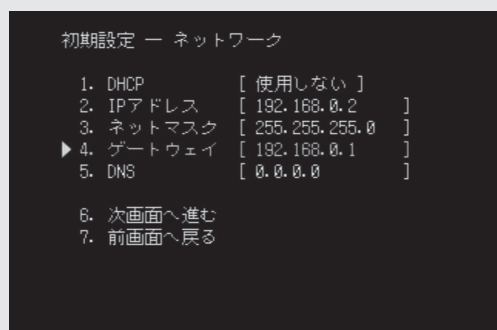
7

▲または▼キーを押して「ゲートウェイ」を選択し、ENTERキーを押す。



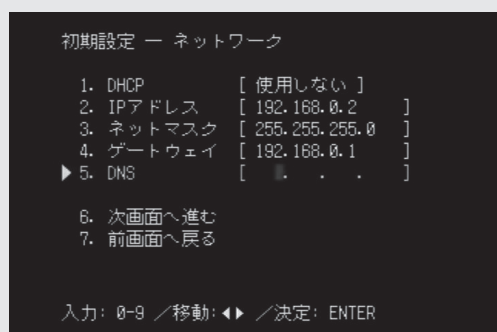
8

数字キーを使ってVC1のデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力し、ENTERキーを押す。



9

▲ または ▼ キーを押して「DNS」を選択し、ENTERキーを押す。

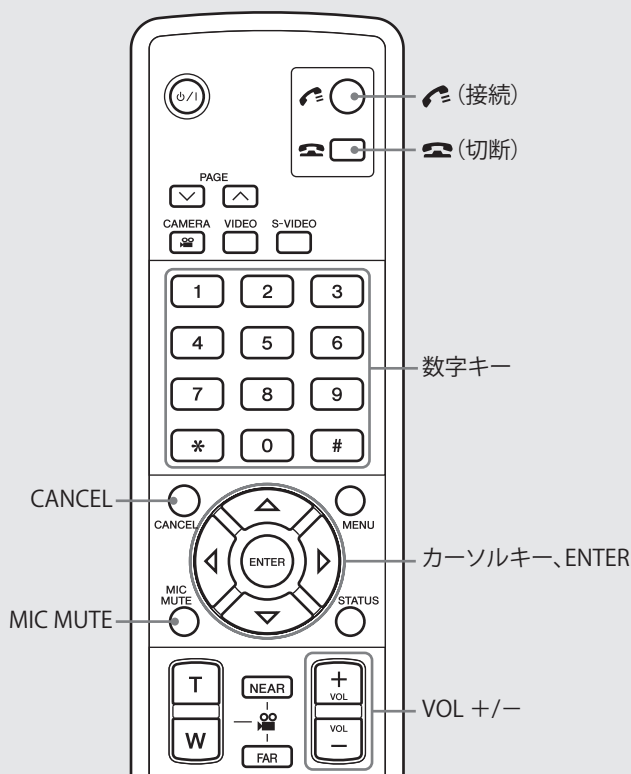


10

数字キーを使ってVC1が参照するDNSサーバーのIPアドレスを入力し、ENTERキーを押す。

通話相手を呼び出す

本機、VC1、および通話先の機器の電源が入っていれば、以下の手順で相手を呼び出せます。



1

待受け画面で☎キーまたはCANCELキーを押す。

回線接続画面が表示されます。



💡 ヒント

待受け画面を表示するには、CANCEL キーを繰り返し押してください。
待受け画面については25ページをご覧ください。

2

▲ または ▼ キーを押して「番号入力」を選択し、ENTERキーを押す。

番号入力項目が表示されます。



3

数字キーを使って、相手の番号を入力する。



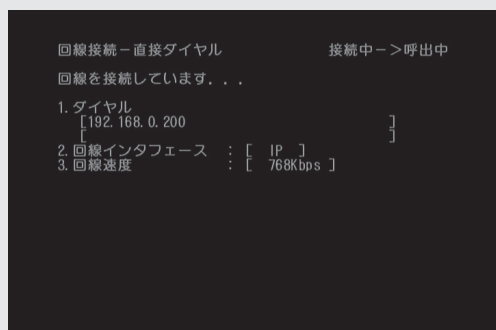
💡 ヒント

- 「.」(ドット)を入力する場合は、*キーを押してください。
- 入力した値を訂正する場合は、CANCELキーを押して訂正する位置にカーソルを合わせ、数字キーを使って再入力します。

4

☎キーまたはENTERキーを押す。

発信画面が表示されます。



相手が受話操作を行うと接続が確立されて、会議が開始されます。

ご注意

接続中にLANケーブルや電源コードを取り外さないでください。誤作動の原因となります。

💡 ヒント

スピーカーの音量を調節する場合は、VOL +/- キーを押します。

相手にこちらの音声が一時的に聞こえないようにする

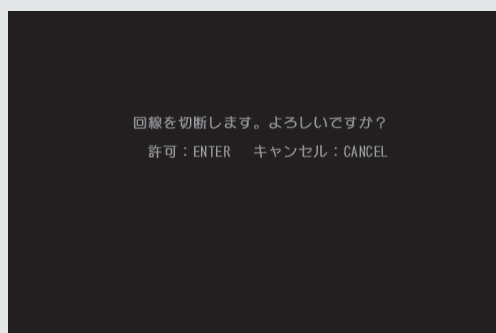
相手に伏せておきたい話などをする場合は、MIC MUTEキーを押します。ディスプレイに「マイクミュート」と表示されている間はこちらのマイクが「オフ」になるため、相手にこちらの音声は伝わりません。

解除するにはもう一度MIC MUTEキーを押します。

5

会議を終了するには、☎キーを押す。

切断確認画面が表示されます。



6

☎キーまたはENTERキーを押す。

通話できない場合は

- 相手側の機器の電源が入っているか確認してください。
- VC1とネットワーク間の接続を確認してください。
- 通話履歴(41ページ)を確認して、問題の原因を確認してください。
- 「Q3 通話できない」(97ページ)もあわせてご覧ください。

アドレス帳から相手を呼び出す場合は

本機のアドレス帳に相手のIPアドレスが登録されている場合は、アドレス帳を使用して相手を呼び出すことができます。

💡 ヒント

IPアドレスの登録方法は、「アドレス帳を編集する」(64ページ)をご覧ください。

1

待受け画面で **📞** キーまたは **CANCEL** キーを押す。

回線接続画面が表示されます。



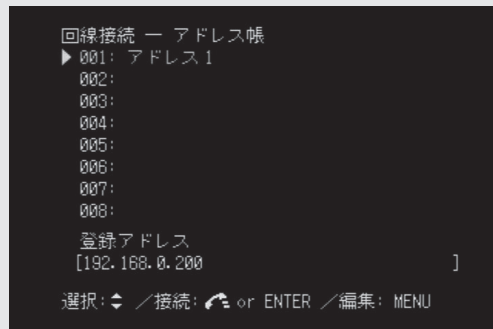
💡 ヒント

待受け画面を表示するには、CANCEL キーを繰り返し押してください。
待受け画面については25ページをご覧ください。

2

▲ または ▼ キーを押して「アドレス帳」を選択し、ENTER キーを押す。

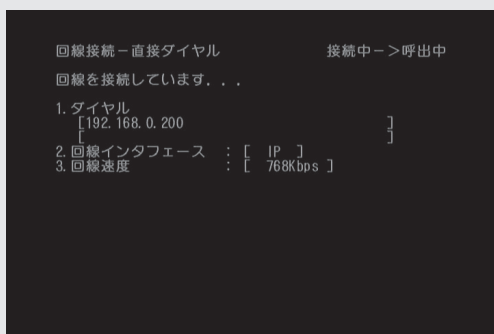
アドレス帳画面が表示されます。



3

▲ または ▼ キーを押して呼び出したい相手を選択し、キー
またはENTERキーを押す。

発信画面が表示されます。



相手が受話操作を行うと接続が確立されて、会議が開始されます。
以後の操作は「通話相手呼び出す」(36ページ)と同様です。

通話履歴から相手を呼び出す場合は

これまでの発信および着信の履歴を参照して、相手を呼び出すことができます。

ご注意

相手の機器がDHCPサーバーからIPアドレスを取得している場合は、相手のIPアドレスが前回発信時から変わっている可能性があります。発信しても相手呼び出せない場合は、相手のIPアドレスを確認してください。

1

待受け画面で **📞** キーまたは **CANCEL** キーを押す。

回線接続画面が表示されます。



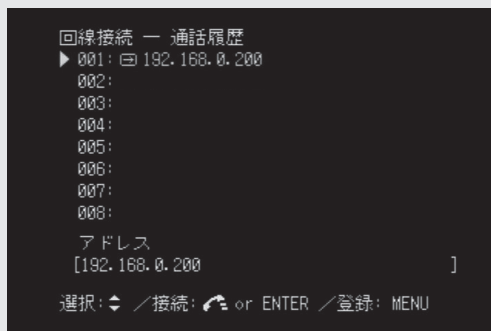
💡 ヒント

待受け画面を表示するには、CANCEL キーを繰り返し押してください。
待受け画面については25ページをご覧ください。

2

▲ または ▼ キーを押して「**通話履歴**」を選択し、**ENTER** キーを押す。

通話履歴画面が表示されます。



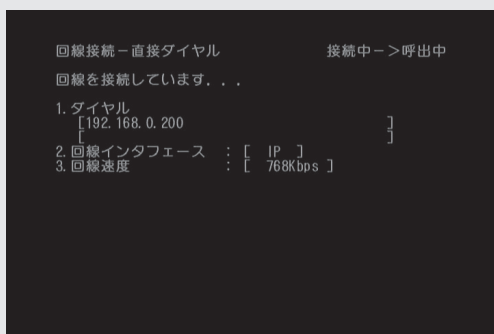
💡 ヒント

通話履歴に記録されているIPアドレスをアドレス帳に登録することができます。登録したい通話履歴を選択しMENUキーを押してください。
アドレス帳への登録方法は「アドレス帳を編集する」(64ページ)をご覧ください。

3

▲ または ▼ キーを押して呼び出したい相手を選択し、キー
またはENTERキーを押す。

発信画面が表示されます。



相手が受話操作を行うと接続が確立されて、会議が開始されます。
以後の操作は「通話相手を呼び出す」(36ページ)と同様です。

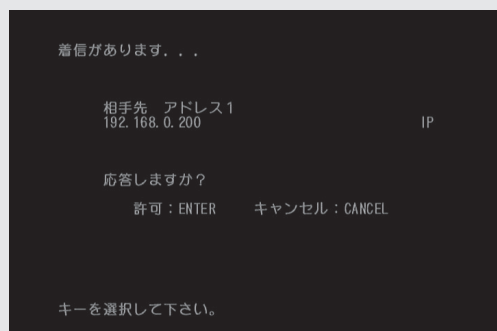
呼び出しを受ける

相手からの呼び出しを受けたら、以下の手順で受話操作を行います。

1

着信中に📞キーまたはENTERキーを押す。

着信すると画面に着信中のメッセージが表示され、着信音が鳴ります。
画面には発信元のIPアドレスが表示されます。



接続が確立されて、会議が開始されます。

ご注意

接続中にLANケーブルや電源コードを取り外さないでください。誤作動の原因となります。

💡 ヒント

- スピーカーの音量を調節する場合は、VOL +/- キーを押します。
- 着信時の応答方法を設定することができます。詳しくは「着信時の応答方法を指定する(着信モード)」(62ページ)をご覧ください。

相手にこちらの音声が一時的に聞こえないようにする

相手に伏せておきたい話などをする場合は、MIC MUTEキーを押します。ディスプレイに「マイクミュート」と表示されている間はこちらのマイクが「オフ」になるため、相手にこちらの音声は伝わりません。

解除するにはもう一度MIC MUTEキーを押します。

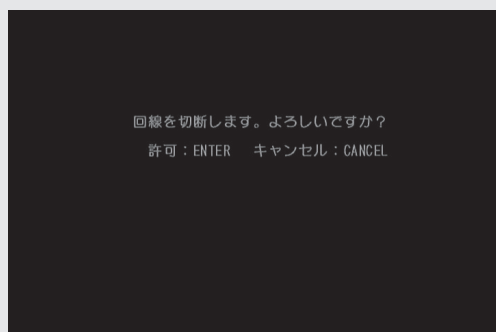
着信を拒否する

着信中に📞キーまたはCANCELキーを押します。

2

会議を終了するには、**☎**キーを押す。

切断確認画面が表示されます。



3

☎キーまたはENTERキーを押す。

通話中にトーン信号を発信する

通話中にトーン信号を発信することができます。通話中に番号を追加入力することが必要となるサービスを利用する際に便利です。

1

通話中に☎キーを押す。

番号の追加入力画面が表示されます。



2

数字キーを使って、番号を入力する。

数字キーを押すごとに対応するトーン信号が発信されます。

3

入力が終了したら、☎キーを押す。

通話中の画面に戻ります。

通話の表示を操作する

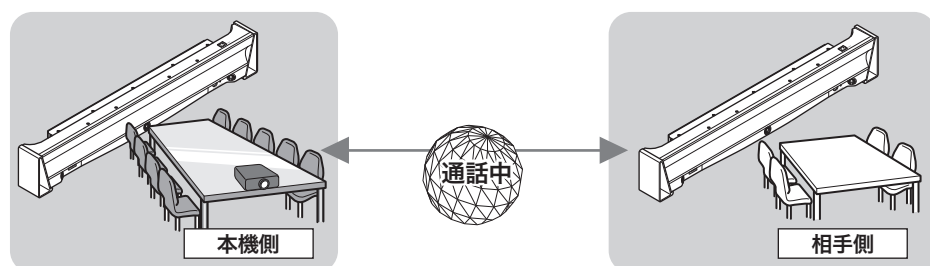
画面表示を切り替える

通話画面の受信映像(相手側のカメラで撮影している映像)と送信映像(本機のカメラで撮影している映像)を切り替えることができます。PIP(ピクチャーインピクチャー)モードをオンにすると、メイン画面の右下に子画面を表示し受信映像と送信映像を確認することができます。また、マルチカメラモードをオンにすると、画面が4分割され各カメラ映像を確認することができます。

- PREVIEWキー:送信映像(本機で撮影している映像)を表示します。
- RECEIVEキー:受信映像(相手側のカメラで撮影している映像)を表示します。
- PIPキー:PIPモードのオン/オフを切り替えます。オンにすると、子画面が表示されます。
- CAMERAキー:マルチカメラモードのオン/オフを切り替えます。オンにすると画面が4分割されます。

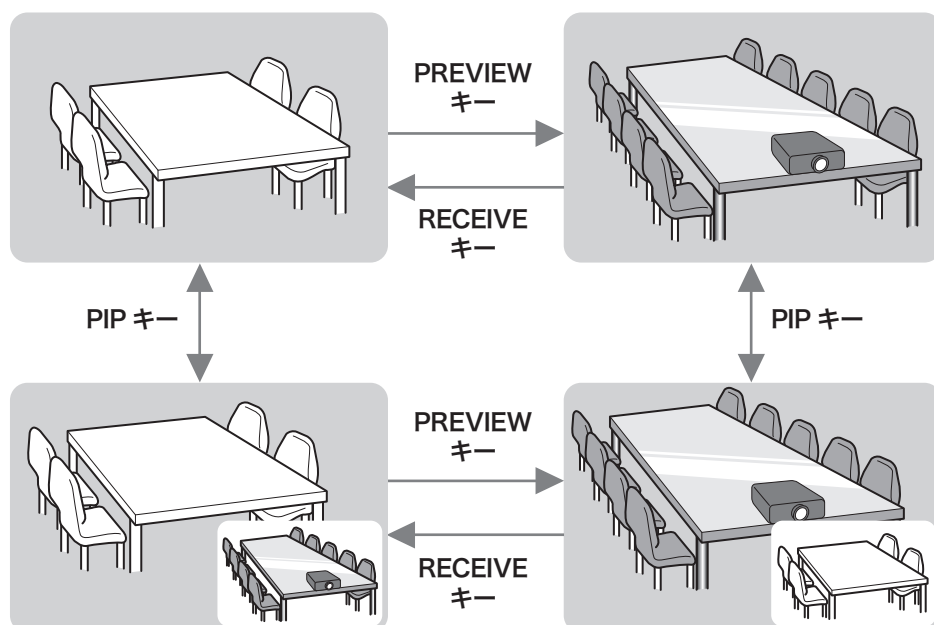
使用環境

例えば、下図の環境で会議を行っているとします。



本機側のディスプレイ表示

上記の使用環境では、本機のディスプレイ表示は、以下のようになります。



マルチカメラモードのディスプレイ表示

本機のディスプレイ表示は、以下のようになります。

画面 1	画面 2
画面 3	画面 4

画面 1: 中央カメラの映像を表示します。

画面 2: 右カメラの映像を表示します。

画面 3: 左カメラの映像を表示します。

画面 4: PJP のロゴ、または「WEB 設定ページ」の「会議情報」で設定した情報を表示します。

会議情報の設定方法は「会議情報を登録する」(71 ページ)をご覧ください。

通信状態を表示する

STATUSキーを押すことで、カメラの制御状態や通信状態などを確認することができます。



静止画を送信する

本機側のディスプレイに表示されている映像を静止画撮影して、通話先に送信することができます。送信が完了すると本機側と相手側のディスプレイに、撮影した静止画が表示されます。通話先と同じ静止画を観ながら、会議を行う場合などに便利です。

1

静止画を撮影したい場面でSENDキーを押す。

本機の表示映像が撮影され、静止画が本機側と相手側のディスプレイに表示されます。

2

静止画から動画に戻すには、PREVIEWキーまたはRECEIVEキーを押す。

- 静止画に切り替わる前の画面表示が受信映像の場合はPREVIEWキーを押します。
- 静止画に切り替わる前の画面表示が送信映像の場合はRECEIVEキーを押します。



VIEWキーを押すと、最後に送受信した静止画が表示されます。

カメラを操作する

本機カメラを操作する

1

NEARキー押して、操作モードを切り替える。

「ローカル制御」と表示されます。

2

カメラを操作する。

- PAGEキー : 撮影するカメラ位置(左・中央・右)を切り替えます。
- ▲/▼キー : 選択しているカメラを上下に動かし、撮影位置を調整します。
- ◀/▶キー : 選択しているカメラを左右に動かし、撮影位置を調整します。
また、通話中は左・中央・右カメラを連動させ、撮影位置を調整します。
- T/Wキー : 選択しているカメラのズームを調整します。
- 数字キー (1) : 左カメラの映像を「カメラデフォルト映像」で設定した状態に戻ります。
- 数字キー (2) : 中央カメラの映像を「カメラデフォルト映像」で設定した状態に戻ります。
- 数字キー (3) : 右カメラの映像を「カメラデフォルト映像」で設定した状態に戻ります。

ご注意

ズーム位置によって、◀/▶/▲/▼キーでカメラ操作できる調整幅がこととなります。

💡 ヒント

- 受信映像がメイン画面に表示されている場合は、カメラを操作すると自動的に子画面が表示(PIPモード:オン)されます。
- カメラのデフォルト設定について詳しくは、「カメラの初期値を指定する」(60ページ)をご覧ください。

相手カメラを操作する

で注意

- メイン画面に送信映像が表示されている場合は、RECEIVEキーを押して受信映像に切り替えてください。
- 相手側がマルチカメラモードの場合、カメラを操作することはできません。
- 相手側によっては、カメラを操作することができません。

1

FARキー押して、操作モードを切り替える。

「リモート制御」と表示されます。

2

カメラを操作する。

- ▲/▼キー：選択しているカメラを上下に動かし、撮影位置を調整します。
- ◀/▶キー：選択しているカメラを左右に動かし、撮影位置を調整します。
また、通話中は左・中央・右カメラを連動させ、撮影位置を調整します。
- T/Wキー：選択しているカメラのズームを調整します。

本機と VC1 の設定を変更する

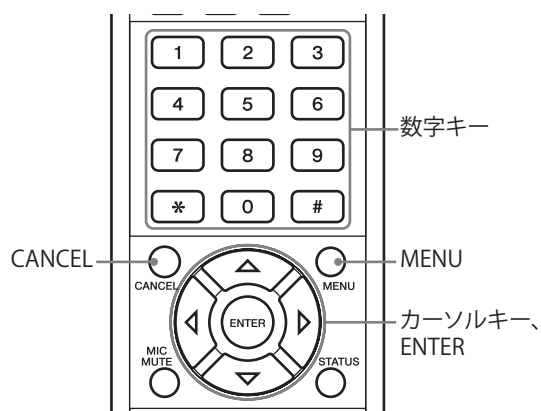
VC1 経由でネットワークに接続する場合は、使用する環境に合わせて設定を変更します。各種設定は、リモコンまたは本機に接続したパソコンの Web ブラウザを使って行います。以下の手順で設定を変更してください。

ご注意

- 一部の設定はリモコンのみで行うこともできますが、会議情報を設定する場合など「WEB 設定ページ」を使用する必要があります。
- 設定メニューの構成や各設定項目の内容について詳しくは、「本機と VC1 の設定項目一覧」(55 ページ)をご覧ください。
- 通話中は設定メニュー画面を表示できません。

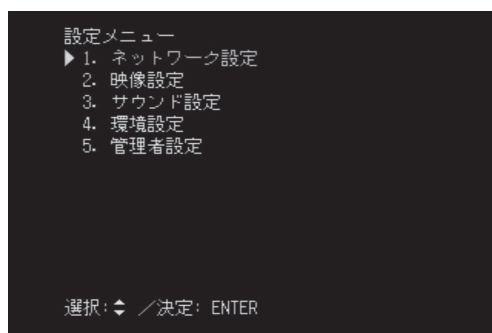
リモコン操作で設定を変更する

リモコン操作で設定を変更する場合は、以下の手順で操作します。



1 MENU キーを押す。

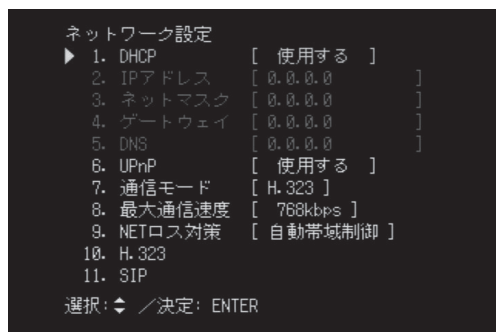
設定メニュー画面が表示されます。



本機とVC1の設定を変更する(つづき)

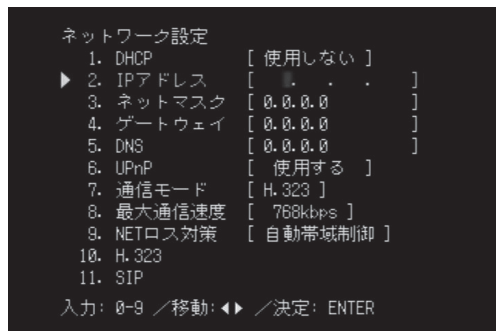
2 ▲ または ▼ キーを押して設定メニューを選択し、ENTERキーを押す。

選択した設定メニュー内の項目が表示されます。下図は「ネットワーク設定」を選択した場合の例です。



3 ▲ または ▼ キーを押して項目を選択し、ENTERキーを押す。

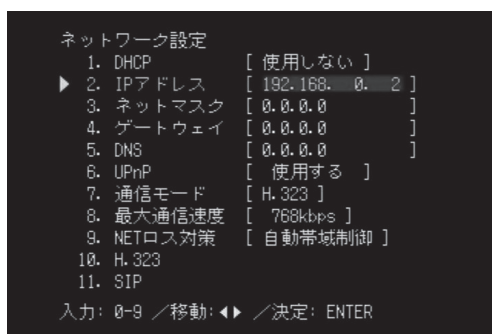
下図は「IPアドレス」を選択した場合の例です。



💡 ヒント

項目によっては、複数のサブ項目が存在します。キーを押すとサブメニューが表示されるので、手順3と同様の操作でサブ項目を選択して設定を変更してください。

4 ▲ または ▼ キーを押して設定を変更する。または数字キーを使って数値を入力する。



💡 ヒント

文字入力が必要な項目を選択した場合、文字入力画面が表示されます。文字の入力方法については「文字の入力操作」をご覧ください。

5 設定変更が完了したら、ENTERキーを押す。

設定した内容が登録されます。

6 すべての設定変更が完了したら、MENUキーを押す。

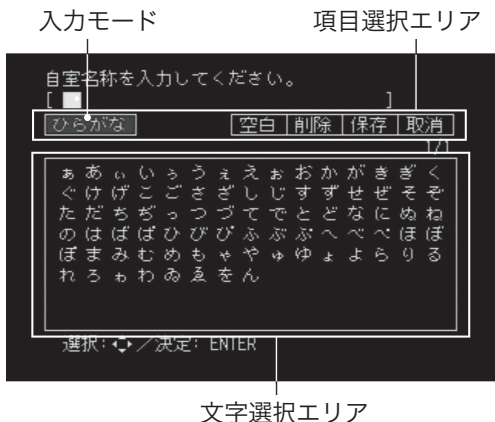
設定メニュー画面に戻ります。「ネットワーク設定」の設定を変更した場合は、本機が再起動します。

設定を保存せずに前の画面に戻りたいときは

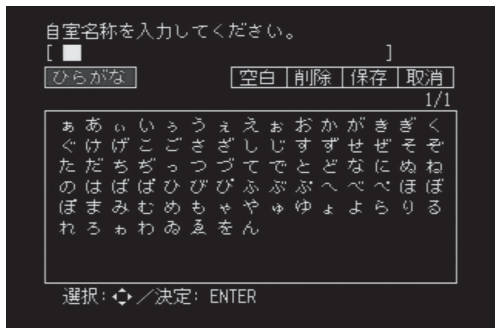
手順5でCANCELキーを押します。

文字の入力操作

文字入力が必要な項目を選択した場合、文字入力画面が表示されます。文字入力画面では以下の手順で文字を入力します。

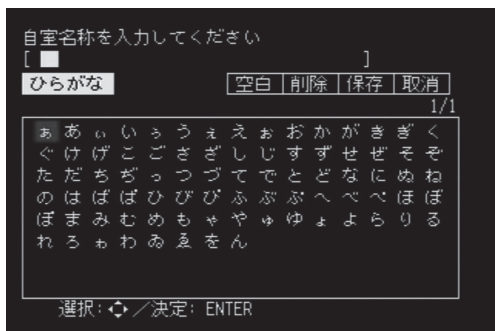


1 ◀または▶キーで入力モードを選択する。



2 ▲または▼キーで入力モードを切り替え、ENTERキーを押す。

下図は「ひらがな」を選択した場合の例です。



💡ヒント

入力モードは、「ひらがな」、「カタカナ」、「漢字」、「英数字」、「特殊文字」、「記号」が選択できます。

3 カーソルキーで入力する文字を選択し、ENTERキーを押す。

💡ヒント

- 項目選択エリアから1つ上のエリアにカーソルを移動する場合は、CANCELキーを押します。
- スペースを入力する場合は、「空白」を選択しENTERキーを押します。
- 入力した文字を修正する場合は、「削除」を選択しENTERキーを押します。
- 入力モードで「漢字」を選択した場合、カーソルキーで漢字の読み(50音)を選択しENTERキーを押すと、文字選択エリアに変換候補が表示されます。カーソルキーで文字を選択し、ENTERキーを押してください。

4 すべての文字を入力したら、◀または▶キーで「保存」を選択しENTERキーを押す。入力した文字が登録されます。

入力した文字を登録せずに前の画面に戻りたいときは「取消」を選択し、ENTERキーを押します。

項目選択エリア選択時の操作

- ◀または▶キー:項目を移動します。
- ▲ または ▼ キー:入力モードにカーソルがある場合に、入力モードを切り替えます。
- CANCELキー:入力カーソルの前の1文字を削除します。入力カーソルが文字入力エリアの先頭にある場合は、前の画面に戻ります。

文字選択エリア選択時の操作

- カーソルキー:文字を選択します。
- ENTERキー:選択している文字を入力します。
- CANCELキー:1つ上のエリアにカーソルを移動します。

本機とVC1の設定を変更する(つづき)

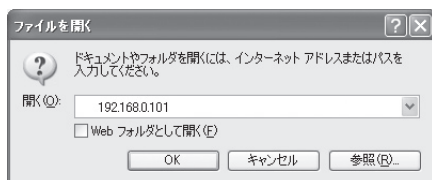
「WEB設定ページ」で設定を変更する

複数の項目をまとめて設定する場合は、パソコン経由で本機の「WEB設定ページ」を使用して設定すると便利です。

ご注意

「WEB設定ページ」で設定を変更する際は、Microsoft Windows XPまたはWindows2000を搭載したパソコンを使用してください。

- 1 本機とVC1の電源が入っていることを確認する。
- 2 パソコンでWebブラウザを起動して、「ファイル」メニューから「開く」を選ぶ。
- 3 「http://（本機のIPアドレス）」と半角英字で入力してから、「OK」をクリックする。



「WEB設定ページ」メイン画面が表示されます。



🔍 「WEB設定ページ」メイン画面が表示されないときは

「Q2:『WEB設定ページ』で設定できない」(95ページ)をご覧ください。

本機と VC1 の設定項目一覧

本機をVC1に接続して使用する場合の設定項目は以下のとおりです。

以下の説明中のはリモコンによる設定、はパソコン経由の「WEB設定ページ」による設定に対応していることを示します。

ネットワーク設定

DHCPを使用するか指定する



DHCPサーバーを使用してVC1のネットワーク情報を自動的に割り当てる場合は「使用する」、使用せずに手動で指定する場合は「使用しない」を選びます。初期設定値は「使用する」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「DHCP」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「(VC1) DHCP」を選択する。

IPアドレスを登録する



DHCPサーバーを使用しない場合に、VC1のIPアドレスを登録します。初期設定値は「0.0.0.0」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「IPアドレス」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「(VC1) IPアドレス」を選択する。

サブネットマスクを登録する



DHCPサーバーを使用しない場合に、VC1のサブネットマスクを登録します。初期設定値は「0.0.0.0」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「ネットマスク」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「(VC1) サブネットマスク」を選択する。

デフォルトゲートウェイを登録する



DHCPサーバーを使用しない場合に、VC1が参照するデフォルトゲートウェイを登録します。初期設定値は「0.0.0.0」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「ゲートウェイ」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「(VC1) デフォルトゲートウェイ」を選択する。

本機とVC1の設定項目一覧(つづき)

DNSサーバーを登録する

DHCPサーバーを使用しない場合に、VC1が参照するDNSサーバーを登録します。初期設定値は「0.0.0.0」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「DNS」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「(VC1) DNSサーバー」を選択する。

UPnPを使用するか指定する

VC1をUPnP (Universal Plug and Play)に対応したルーターと接続する場合は「使用する」、これ以外の場合は「使用しない」を選びます。初期設定値は「使用する」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「UPnP」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「UPnP」を選択する。

通信プロトコルを指定する(通信モード)

VC1の通信プロトコルを指定します。ゲートキーパーを使用して通信する場合は「H.323」、SIPサーバーを使用する場合は「SIP」を選びます。初期設定値は「H.323」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「通信モード」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「通信モード」を選択する。

最大通信速度を指定する

ネットワークの速度に合わせて、VC1の通信速度を指定します。初期設定値は「768kbps」です。

💡 ヒント

通信エラーが頻繁に起こる場合、最大通信速度を低く設定すると改善されることがあります。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「最大通信速度」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「最大通信速度」を選択する。

通信帯域を指定する

ネットワークの状況に応じて、通信帯域を設定できます。通常では「自動帯域制御」(初期設定値)のままお使いください。

- **自動帯域制御**(初期設定値) : ネットワークの状況に応じて通信帯域を自動的に可変させる場合に選びます。
- **誤り訂正**: 映像や音声データの紛失(パケットロス)や誤りを検出した時にデータを復元して安定した通信を確保する場合に選びます。
- **なし**: 通信帯域を可変させない場合に選びます。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク」→「NETロス対策」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「NETロス対策」を選択する。

ゲートキーパーを使用するか指定する

ゲートキーパーを使用して通話する場合は「使用する」、使用しない場合は「使用しない」を選びます。初期設定値は「使用しない」です。なおゲートキーパーを使用する場合は、あわせてゲートキーパーのアドレスとH.323名を入力してください。詳しくは「ゲートキーパーを使用する」(67ページ)をご覧ください。

ご注意

ゲートキーパーを使用して通話する場合、「通信モード」を「H.323」に設定する必要があります。詳しくは「通信プロトコルを指定する(通信モード)」(56ページ)をご覧ください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「H.323」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「ゲートキーパー」を選択する。

本機とVC1の設定項目一覧(つづき)

SIPサーバーを使用するか指定する



SIPサーバーを使用して通話する場合は「使用する」、使用しない場合は「使用しない」を選びます。初期設定値は「使用しない」です。なおSIPサーバーを使用する場合は、あわせてSIPサーバーのアドレス、アカウント、パスワードを入力してください。詳しくは「SIPサーバーを使用する」(69ページ)をご覧ください。

ご注意

- SIPサーバーのアドレス、アカウント、パスワードが登録されていない場合、SIPサーバーを使用した通話は利用できません。
- SIPサーバーを使用して通話する場合、「通信モード」を「SIP」に設定する必要があります。詳しくは「通信プロトコルを指定する(通信モード)」(56ページ)をご覧ください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「SIP」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「SIPサーバー」を選択する。

映像設定

会議情報を設定する

マルチカメラモード時の画面4に表示する任意のコメントを入力します。詳しくは、「会議情報を登録する」(71ページ)をご覧ください。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「会議情報」を選択する。

映像のエンコード方式を指定する



ネットワークの通信速度に合わせて映像のエンコード方式を指定します。初期設定値は「H.264優先」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「映像設定」→「画質符号化モード」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「画質符号化モード」を選択する。

映像の画質を指定する

通話中の映像の画質を指定します。

- **標準**(初期設定値) : 通常時に指定します。
- **動き優先**: より滑らかな映像を送信します。
- **画質優先**: より高品質な映像を送信します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「映像設定」→「画質モード」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「画質モード」を選択する。

通話中のデータロスを補償するか指定する

通話中の映像データを補償する場合は「ON」、補償しない場合は「OFF」を選びます。初期設定値は「ON」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「映像設定」→「パケットロス補償」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「パケットロス補償」を選択する。

カメラとマイクを連動させるか指定する (カメラ追尾機能)

発話者の音声を追尾してカメラを切り替える場合は「追尾する」、切り替えない場合は「追尾しない」を選びます。初期設定値は「追尾する」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「映像設定」→「カメラ追尾」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「カメラ追尾」を選択する。

カメラ追尾機能のマイク感度を指定する

カメラ追尾機能を使用する場合に、使用環境にあわせて、マイク感度を設定できます。通常的环境下、「中」(初期設定値)のままお使いください。

- **高**: 小さい音にも反応します。
- **中**(初期設定値) : 通常時に指定します。
- **低**: 大きな音で反応します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「映像設定」→「カメラ追尾感度」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「カメラ追尾感度」を選択する。

本機とVC1の設定項目一覧(つづき)

カメラ追尾機能の一時停止時間を指定する

カメラ追尾機能を使用する場合に、本機のカメラを手動操作したとき、カメラ追尾機能を一時的に停止させる時間を、「3秒」(初期設定値)、「5秒」、「10秒」から選びます。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「映像設定」→「カメラホールド時間」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「カメラホールド時間」を選択する。

カメラの初期値を指定する

各カメラの初期値を設定できます。カメラを手動操作した時に、数字キー(1、2、3)を押すことで設定した状態に戻ります。初期値を設定する場合は、設定するカメラを選択しカメラ操作後にENTERキーを押します。カメラ操作について詳しくは、「カメラを操作する」(49ページ)をご覧ください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「映像設定」→「カメラデフォルト映像」を選択する。

サウンド設定

部屋の大きさに合わせる(ルームサイズ)

部屋の大きさや使用環境にあわせて、收音範囲を設定します。初期設定値は「大」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「サウンド設定」→「ルームサイズ」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「ルームサイズ」を選択する。

音声のエンコード方式を選ぶ(CODEC)

ネットワークの通信速度に合わせて音声のエンコード方式を指定します。初期設定値は「G.722」です。

💡ヒント

通話中に音声途切れる場合は、エンコード方式を低い通信速度に合わせてください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「サウンド設定」→「音声符号化モード」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「音声符号化モード」を選択する。

音声を遅延するか指定する

音声を遅延させて映像と音声の時間差を少なくする場合は「ON」、遅延させない場合は「OFF」を選択します。初期設定値は「OFF」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「サウンド設定」→「音声遅延」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「音声遅延」を選択する。

通話中のデータロス補償するか指定する

通話中の音声データを補償する場合は「ON」、補償しない場合は「OFF」を選びます。初期設定値は「ON」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「サウンド設定」→「パケットロス補償」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「パケットロス補償」を選択する。

環境設定

端末の名前を登録する

任意の文字列を入力して、本機の端末名を登録できます。

ヒント

文字入力画面が表示されます。文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「環境設定」→「自室名称」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「自室名称」を選択する。

日付と時刻を設定する

本機の日付と時刻を設定します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「環境設定」→「日付/時刻」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「日付/時刻の設定」を選択する。

本機とVC1の設定項目一覧(つづき)

着信時の応答方法を指定する(着信モード)



本機が着信したときの応答方法を指定します。

手動(初期設定値) : 着信時に  キーを押して応答します。

自動 : 着信時に自動的に応答します。

選択 : アドレス帳に登録されている相手からの呼び出しのみ着信します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「環境設定」→「着信モード」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「着信モード」を選択する。

着信音の音量を指定する

着信音の音量を指定します。音量は20段階で設定できます(「0」に設定すると消音されます)。初期設定値は「10」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「環境設定」→「着信音量」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「着信音量」を選択する。

本機の設置状態を指定する

通常時は「ノーマル」、本機の下を反転して設置した場合は「上下反転」を選びます。初期設定値は「ノーマル」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「環境設定」→「設置状態」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「設置状態」を選択する。

スタンバイモードに移行する時間を指定する

無通話時に本機が自動的にスタンバイモード(待機状態)に移行する時間を、「なし」(初期設定値)、「3分」、「5分」、「10分」、「30分」から選びます。スタンバイモード(待機状態)では本機は微量の電力を消費します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「環境設定」→「待機モード」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「待機モード」を選択する。

管理者設定

パスワードを登録する

任意のパスワードを入力して、本機やVC1の設定を不用意に変更されるのを防ぎます。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「管理者設定」→「パスワード登録」を選択する。

ヒント

文字入力画面が表示されます。文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「パスワードの設定・解除をする」を選択する。

本機とVC1を連動させる

本機をVC1に接続して使用する場合は「連動する」、本機をパソコンに接続して使用する場合は「連動しない」を選びます。初期設定値は「連動する」です。

ご注意

本機をVC1と接続して使用しているときに、「連動しない」を選ばないでください。ディスプレイに「接続が正しくありません。」と表示され操作できなくなります。その際は本機とディスプレイを直接S端子ケーブルで接続し、設定を「連動する」に変更してください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「管理者設定」→「VC1連動」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「VC1連動」を選択する。

本機やVC1の設定を初期状態に戻す



本機やVC1の設定を初期状態に戻します。詳しくは、「本機やVC1の設定を初期化する」(77ページ)をご覧ください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「管理者設定」→「初期化」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「初期化(出荷状態に戻す)」を選択する。

本機やVC1の機能を最新にする



本機やVC1のファームウェアをアップデートします。詳しくは、「最新の機能を利用する(リビジョンアップ)」(72ページ)をご覧ください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「管理者設定」→「ファームアップデート」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「PJP-300Vファームアップデートの設定」または「PJP-VC1ファームアップデートの設定」を選択する。

本機やVC1の情報を表示する

本機やVC1の「シリアル番号」、「MACアドレス」、「ファームウェアバージョン」を表示します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「管理者設定」→「装置情報」を選択する。

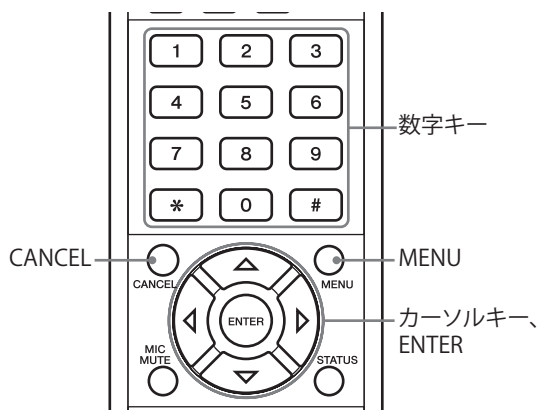
アドレス帳を編集する

頻繁に使用する通話先を、本機のアドレス帳に最大32件まで登録できます。相手呼び出す際にアドレス帳から通話先を選べるようになります(39ページ)。

リモコン操作で編集する

通話先をアドレス帳に登録する

その他の操作



1 待受け画面で☎キーまたはCANCELキーを押す。

回線接続画面が表示されます。

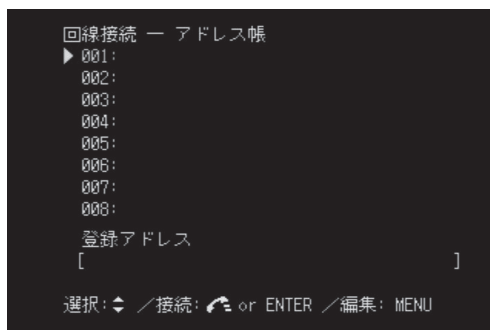


💡 ヒント

待受け画面を表示するには、CANCELキーを繰り返し押してください。待受け画面については25ページをご覧ください。

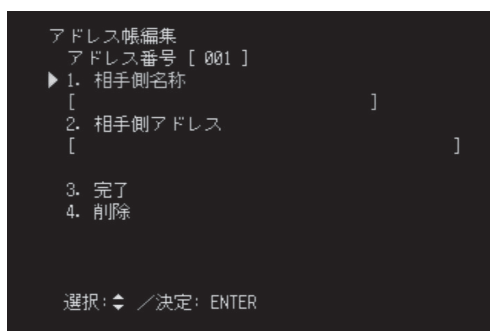
2 ▲ または ▼ キーを押して「アドレス帳」を選択し、ENTERキーを押す。

アドレス帳画面が表示されます。



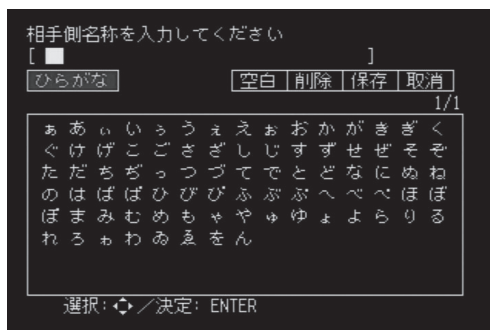
3 ▲ または ▼ キーを押してアドレス番号を選択し、MENUキーを押す。

アドレス帳編集画面が表示されます。



4 ▲ または ▼ キーを押して「相手側名称」を選択し、ENTERキーを押す。

文字入力画面が表示されます。



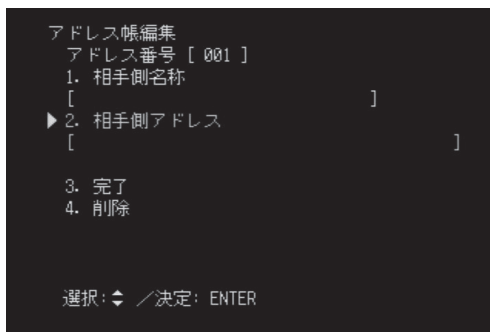
5 カーソルキーとENTERキーを使って通話先の名称を入力する。

- 文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

💡 ヒント

通話先の名称を入力しない場合は、自動的にアドレス番号が「相手側名称」に登録されます。

6 ▲ または ▼ キーを押して「相手側アドレス」を選択し、ENTERキーを押す。



7 数字キーを使って通話先のIPアドレスを入力し、ENTERキーを押す。

- 「.」(ドット)を入力するには、*キーを押します。
- ゲートキーパーを使用する場合は、通話先のIP電話番号を入力します。

📌 ご注意

登録したい相手がIPアドレスをDHCPサーバーから取得している場合は、相手のIPアドレスが変わっている可能性があります。この場合、アドレス帳に登録しても正しく発信できないことがあります。

8 ▲ または ▼ キーを押して「完了」を選択し、ENTERキーを押す。

アドレス帳に新しい通話先が登録され、アドレス帳画面に戻ります。

アドレス帳の情報を編集する場合は

手順3で編集したいアドレス番号を選択してください。

アドレス帳の情報を削除する場合は

削除したいアドレス番号を選択してから▲ または ▼ キーで「削除」を選び、ENTERキーを押します。

アドレス帳を編集する(つづき)

「WEB設定ページ」から編集する

通話先をアドレス帳に登録する

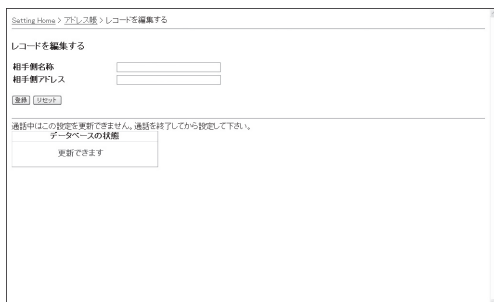
1 「WEB設定ページ」で「アドレス帳の閲覧・編集」をクリックする。

アドレス帳画面が表示されます。



2 「編集」をクリックする。

アドレス帳・編集画面が表示されます。



3 「相手側名称」欄に、通話先の名称を入力する。

4 「相手側アドレス」欄に、通話先のIPアドレスを入力する。

ご注意

登録したい相手がIPアドレスをDHCPサーバーから取得している場合は、相手のIPアドレスが変わっている可能性があります。この場合、アドレス帳に登録しても正しく発信できないことがあります。

5 「登録」をクリックする。

アドレス帳に新しい通話先が登録され、アドレス帳画面に戻ります。

アドレス帳の情報を編集する場合は

編集したいアドレスの「編集」をクリックしてください。

アドレス帳の情報を削除する場合は

削除したいアドレスの「削除」をクリックしてください。

ゲートキーパーを使用する

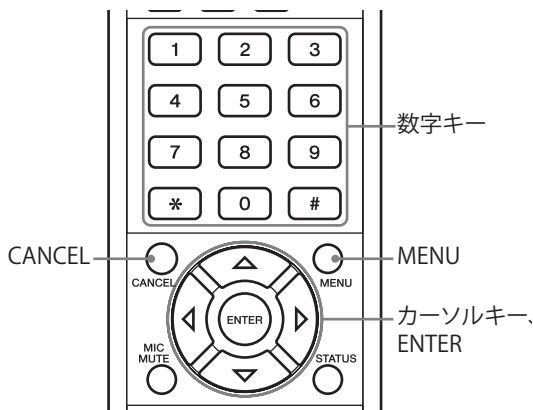
ゲートキーパーの情報を登録する

ゲートキーパーを導入した環境で本機を使用する場合は、VC1が参照するゲートキーパーアドレスおよびH.323名を登録する必要があります。詳しくはシステム管理者にご相談ください。

ご注意

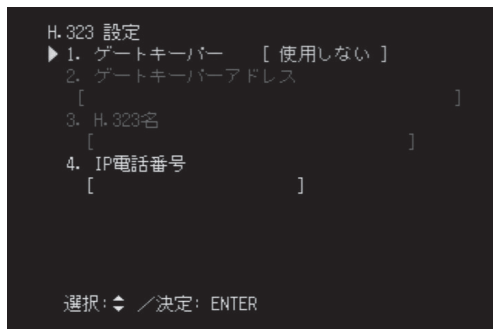
- ゲートキーパーを導入していない場合は、この操作は必要ありません。
- ゲートキーパーを使用して通話する場合、「通信モード」を「H.323」に設定する必要があります。詳しくは「通信プロトコルを指定する(通信モード)」(56ページ)をご覧ください。

リモコン操作で登録する

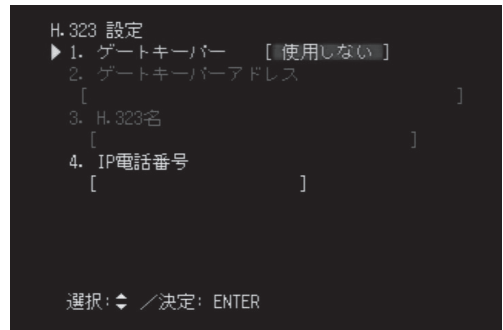


- 1 MENUキーを押して設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「H.323」を選択する。

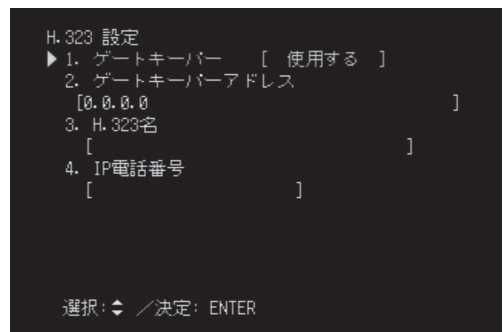
H.323設定画面が表示されます。



- 2 ▲ または ▼ キーを押して「ゲートキーパー」を選択し、ENTERキーを押す。

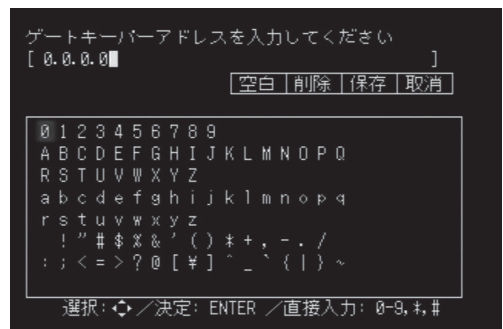


- 3 ▲ または ▼ キーを押して「使用する」を選択し、ENTERキーを押す。



- 4 ▲ または ▼ キーを押して「ゲートキーパーアドレス」を選択し、ENTERキーを押す。

文字入力画面が表示されます。



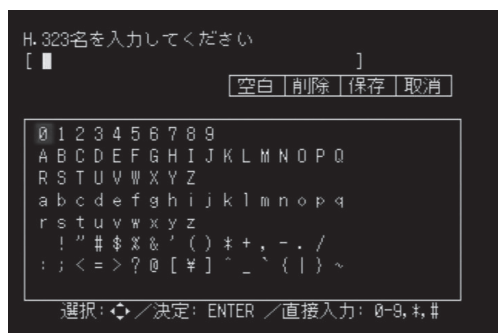
ゲートキーパーを使用する(つづき)

5 カーソルキーとENTERキーを使ってゲートキーパーアドレスを入力する。

- 文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

6 ▲ または ▼ キーを押して「H.323名」を選択し、ENTERキーを押す。

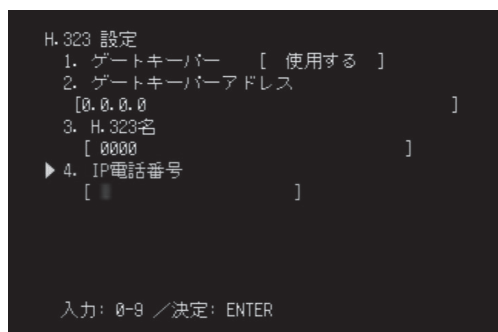
文字入力画面が表示されます。



7 カーソルキーとENTERキーを使ってH.323名を入力する。

- 文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

8 ▲ または ▼ キーを押して「IP電話番号」を選択し、ENTERキーを押す。



9 数字キーを使ってIP電話番号を入力し、ENTERキーを押す。

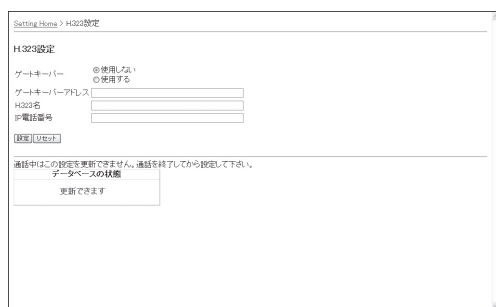
10 MENUキーを押す。

ゲートキーパーの情報が登録されます。

「WEB設定ページ」から登録する

1 「WEB設定ページ」で「ゲートキーパー」をクリックする。

H.323設定画面が表示されます。



2 「ゲートキーパー」欄で、「使用する」を選択する。

3 「ゲートキーパーアドレス」欄に、ゲートキーパーアドレスを入力する。

4 「H.323名」欄に、H.323名を入力する。

5 「IP電話番号」欄に、IP電話番号を入力する。

6 「設定」をクリックする。

ゲートキーパーの情報が登録されます。

SIP サーバーを使用する

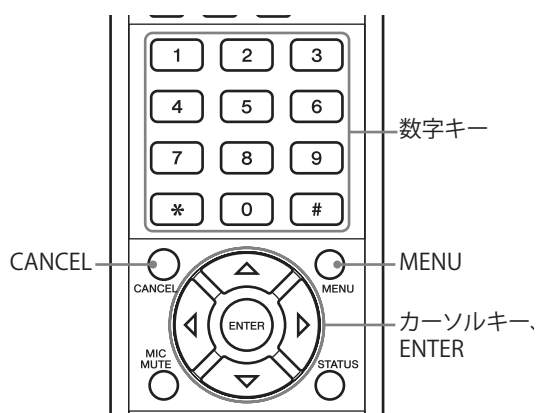
SIPサーバーの情報を登録する

SIPサーバーを導入した環境で本機を使用する場合は、VC1が参照するSIPサーバーのアドレスおよびVC1のSIPアドレスを登録する必要があります。なお、SIPサーバーへのアクセスにパスワード認証を設定している場合は、アカウントとパスワードもあわせて入力する必要があります。詳しくはシステム管理者にご相談ください。

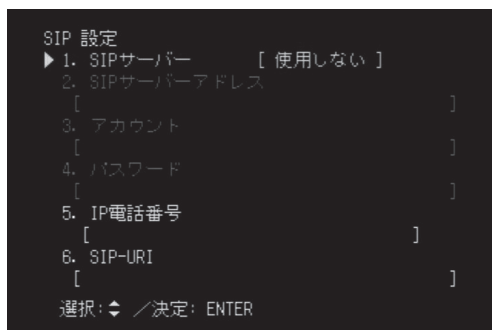
ご注意

- SIPサーバーを導入していない場合は、この操作は必要ありません。
- SIPサーバーを使用して通話する場合、「通信モード」を「SIP」に設定する必要があります。詳しくは「通信プロトコルを指定する(通信モード)」(56ページ)をご覧ください。
- VC1の「通信モード」を「SIP」に設定した場合、通信モードがH.323に設定されている装置と接続することはできません。接続の際は、通話先の通信モードを確認してください。
- SIPサーバーを利用して通話するためには、VC1のSIPアドレスをSIPサーバー側に別途登録する必要があります。

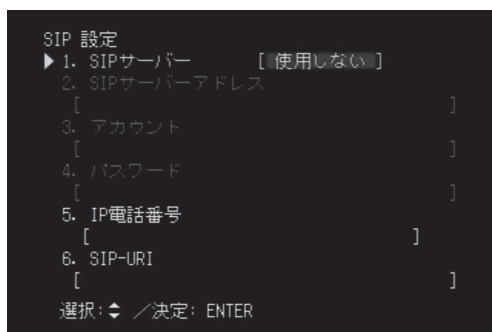
リモコン操作で登録する



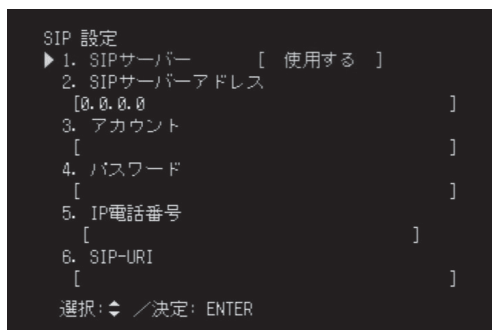
- 1 MENUキーを押して設定メニュー画面から「ネットワーク設定」→「SIP」を選択する。SIP設定画面が表示されます。



- 2 ▲ または ▼ キーを押して「SIPサーバー」を選択し、ENTERキーを押す。



- 3 ▲ または ▼ キーを押して「使用する」を選択し、ENTERキーを押す。



- 4 ▲ または ▼ キーを押して「SIPサーバーアドレス」を選択し、ENTERキーを押す。文字入力画面が表示されます。

SIPサーバーを使用する(つづき)

5 カーソルキーとENTERキーを使ってSIPサーバーアドレスを入力する。

- 文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

6 ▲ または ▼ キーを押して「アカウント」を選択し、ENTERキーを押す。

文字入力画面が表示されます。

7 カーソルキーとENTERキーを使ってSIPサーバーのアカウントを入力する。

- 文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

8 ▲ または ▼ キーを押して「パスワード」を選択し、ENTERキーを押す。

文字入力画面が表示されます。

9 カーソルキーとENTERキーを使ってSIPサーバーのパスワードを入力する。

- 文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

10 ▲ または ▼ キーを押して「IP電話番号」を選択し、ENTERキーを押す。

11 数字キーを使ってIP電話番号を入力し、ENTERキーを押す。

12 ▲ または ▼ キーを押して「SIP-URI」を選択し、ENTERキーを押す。

文字入力画面が表示されます。

13 カーソルキーとENTERキーを使ってSIPサーバーのURIを入力する。

- 文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

14 MENUキーを押す。

SIPサーバーの情報が登録されます。

「WEB設定ページ」から登録する

1 「WEB設定ページ」で「SIPサーバー」をクリックする。

SIP画面が表示されます。

2 「SIPサーバー」欄で、「使用する」を選択する。

3 「SIPサーバーアドレス」欄に、SIPサーバーアドレスを入力する。

4 「SIPアカウント」欄に、SIPサーバーのアカウントを入力する。

5 「SIPパスワード」欄に、SIPサーバーのパスワードを入力する。

6 「SIP IP電話番号」欄に、IP電話番号を入力する。

7 「SIP-URI」欄に、URIを入力する。

8 「設定」をクリックする。

SIPサーバーの情報が登録されます。

会議情報を登録する

マルチカメラモード時の画面4に表示するコメントを任意で登録できます。また、各コメントに対してカメラを割り当てることができ、選択しているカメラと連動しコメントの色が切り替わります。

1 「WEB設定ページ」で「会議情報」をクリックする。

「会議情報」画面が表示されます。

表示内容	カメラ割り当て
☐ L	☐ C ☐ R @ 使用しない
☐ C	☐ L ☐ C ☐ R @ 使用しない
☐ R	☐ L ☐ C ☐ R @ 使用しない
☐ @ 使用しない	☐ L ☐ C ☐ R @ 使用しない
☐ @ 使用しない	☐ L ☐ C ☐ R @ 使用しない

2 「参加者情報」を選択する。

3 「表示内容」欄に、任意のコメントを全角12文字(半角24文字)以内で入力する。

4 「カメラ割り当て」を設定する。

- L: 左カメラを割り当てる場合
- C: 中央カメラを割り当てる場合
- R: 右カメラを割り当てる場合
- 使用しない: カメラを割り当てない場合

5 「設定」をクリックする。

会議情報が登録されます。

会議情報を初期状態に戻す場合

「会議情報」画面で「クリア」をクリックします。

最新の機能を利用する（リビジョンアップ）

インターネットから本機やVC1の機能を管理するプログラム(ファームウェア)をダウンロードして、最新の機能をご利用いただけます(リビジョンアップ)。

本機のリビジョンアップは、インターネットに接続して最新のファームウェアを自動的にダウンロードする方法(72ページ)と、ファームウェアを別途入手してから本機に手動で転送する方法(74ページ)があります。VC1のリビジョンアップについては、「VC1をリビジョンアップする」(75ページ)をご覧ください。

ご注意

- リビジョンアップ機能をご利用いただくには、ソフトウェアライセンス契約に同意いただく必要があります。詳しくは「ソフトウェアライセンス契約」(100ページ)をご覧ください。
- 本機をリビジョンアップするには、直接ネットワークに接続する必要があります(VC1経由で本機をリビジョンアップすることはできません)。

その他の操作

本機をリビジョンアップする

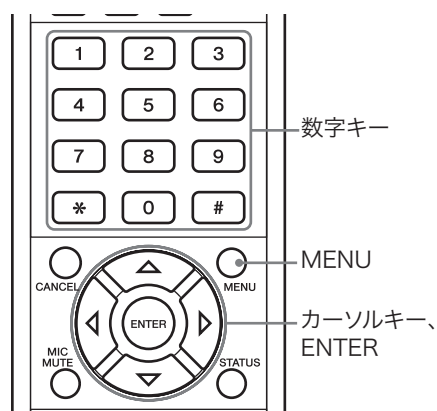
本機を自動的にリビジョンアップする

ご注意

- 本機がインターネットに接続できない環境にある場合は、自動的にリビジョンアップできません。「本機を手動でリビジョンアップする」(74ページ)をご覧ください。

ヒント

ファームウェア入手のための接続先を、任意に指定することもできます(73ページ)。



- 1 MENUキーを押して設定メニュー画面から「管理者設定」→「ファームアップデート」→「PJP-300Vファームアップデート」を選択する。

2 ▲ または ▼ キーを押して「アップデート開始」を選択し、ENTERキーを押す。

本機がインターネットに接続して、最新ファームウェアをダウンロードします。ダウンロードが完了すると、自動的にリビジョンアップが開始されます。

ご注意

- リビジョンアップ処理には数分かかります。
- リビジョンアップ中は、本機の電源をオフにしたり、LANケーブルを抜いたり、他の操作を実行したりしないでください。本機が使用できなくなり、持ち込み修理となる場合があります。
- リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。

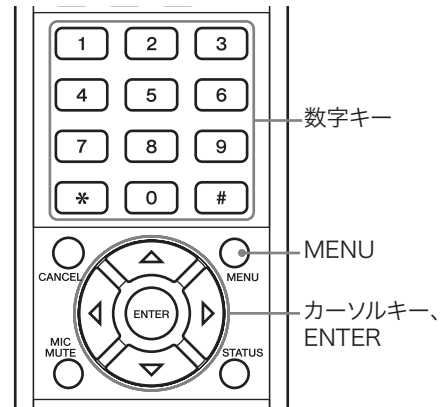
リビジョンアップが終了すると

本機が再起動します。

装置情報画面でリビジョン番号が更新されていることを確認してください。装置画面の表示方法については「本機やVC1の情報を表示する」(63ページ)をご覧ください。

ファームウェアの入手先を指定する

社内で複数のPJPを使用している場合などに、各装置のファームウェアバージョンを一括管理することができます。



1 設定メニューの「管理者設定」→「ファームアップデート」→「PJP-300Vファームアップデート」を選択し、ENTERキーを押す。

ファームアップデート画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ キーを押して「サーバー」を選択し、ENTERキーを押す。

3 ▲ または ▼ キーを押して「その他」を選択し、ENTERキーを押す。

💡 ヒント

「ヤマハWebサイト」を選択すると、常に最新のファームウェアを利用できます。

4 ▲ または ▼ キーを押して「サーバーアドレス」を選択し、ENTERキーを押す。

文字入力画面が表示されます。

5 リビジョンアップ実行時に接続するURLを入力する。

文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

「本機を自動的にリビジョンアップする」(72ページ)を実行すると、指定したURLからファームウェアをダウンロードします。

最新の機能を利用する(リビジョンアップ)(つづき)

本機を手動でリビジョンアップする

本機がインターネットに接続できない環境にある場合は、パソコンなどから最新のファームウェアを入手してから、TFTPを使用して本機にファームウェアを転送します。

1 現在のリビジョン番号を確認する

装置情報画面でリビジョン番号を確認します。装置画面の表示方法については「本機やVC1の情報を表示する」(63ページ)をご覧ください。

2 最新のファームウェアを入手する

PJPのサポートページから、最新のファームウェアをダウンロードします。

PJPのサポートページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

3 本機の待受け画面を表示する。

4 本機にアクセスできるWindowsパソコンで、「コマンドプロンプト」を起動する。

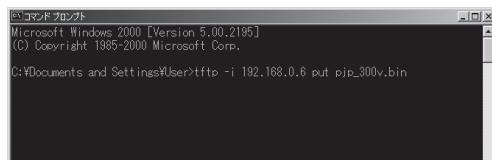
Windows XPの場合は、「スタート」メニューをクリックしてから、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンド プロンプト」をクリックします。

5 以下のコマンドを入力して、実行する。

```
tftp -i [本機のIPアドレス] put [ファイル名]
```

入力例：

```
tftp -i 192.168.0.6 put pjp_300v.bin
```



ファームウェアのバージョン確認画面が表示されます。

6 リモコンのENTERキーを押す。

リビジョンアップが開始されます。

ご注意

- リビジョンアップ処理には数分かかります。
- リビジョンアップ中は、本機の電源をオフにしたり、LANケーブルを抜いたり、他の操作を実行したりしないでください。本機が使えなくなり、持ち込み修理となる場合があります。
- リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。

リビジョンアップをやめる場合は

手順6でCANCELキーを押します。

リビジョンアップが終了すると

本機が再起動します。

装置情報画面でリビジョン番号が更新されていることを確認してください。装置画面の表示方法については「本機やVC1の情報を表示する」(63ページ)をご覧ください。

VC1をリビジョンアップする

パソコンで最新のファームウェアを入手してから、アップデートサーバーを使用してVC1にファームウェアを転送します。

1 現在のリビジョン番号を確認する

装置情報画面でリビジョン番号を確認します。装置画面の表示方法については「本機やVC1の情報を表示する」(63ページ)をご覧ください。

2 最新のファームウェアを入手する

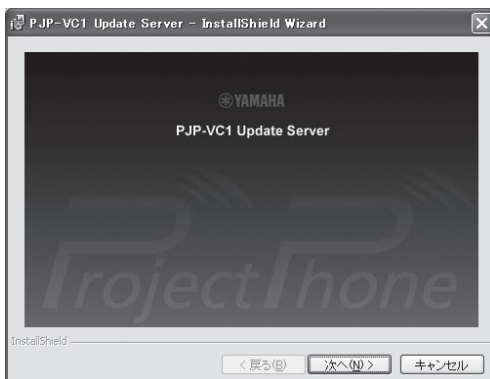
パソコンでPJPのサポートページにアクセスして、最新のファームウェアを入手します。

PJPのサポートページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

3 ダウンロードしたファームウェアをダブルクリックする。

セットアッププログラムが起動します。



4 「次へ」をクリックし、もう一度「次へ」をクリックする。

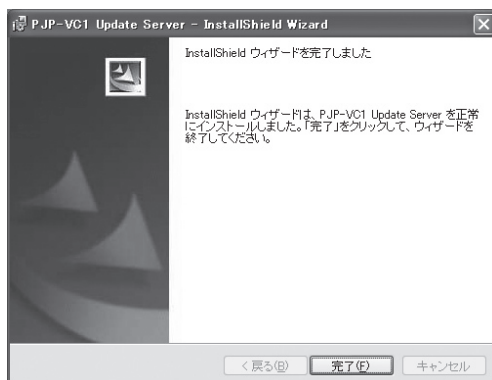
「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。



インストール先フォルダを変更する場合は、「変更」をクリックしインストール先フォルダを選択してください。

5 「次へ」をクリックする。

インストールが開始され、「InstallShield ウィザードを完了しました」画面が表示されます。



インストールを中止する場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

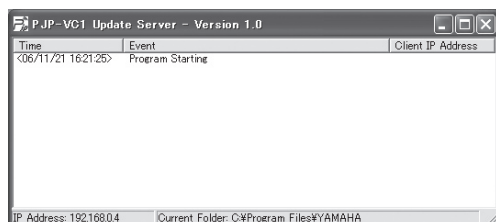
6 「完了」をクリックする。

インストールが完了します。

最新の機能を利用する(リビジョンアップ)(つづき)

- 7 ディスクトップの「PJP-VC1_Update_Server」のショートカットをダブルクリックする。

アップデートサーバーが起動します。



- 8 リモコンのMENUキーを押して設定メニュー画面から「管理者設定」→「ファームアップデート」→「PJP-VC1 ファームアップデート」を選択する。

- 9 ▲ または ▼ キーを押して「サーバーアドレス」を選択し、ENTERキーを押す。

- 10 数字キーを使ってアップデートサーバーを起動しているパソコンのIPアドレスを入力し、ENTERキーを押す。

- 11 ▲ または ▼ キーを押して「アップデート開始」を選択し、ENTERキーを押す。

リビジョンアップ処理が始まります。

ご注意

- ・リビジョンアップ処理には数分かかります。
- ・リビジョンアップ中は、VC1の電源をオフにしたり、LANケーブルを抜いたり、他の操作を実行したりしないでください。VC1が使えなくなり、持ち込み修理となる場合があります。
- ・リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。

リビジョンアップをやめる場合は

手順11でCANCELキーを押します。

リビジョンアップが終了すると

本機が再起動します。

装置情報画面でリビジョン番号が更新されていることを確認してください。装置画面の表示方法については「本機やVC1の情報を表示する」(63ページ)をご覧ください。

本機や VC1 の設定を初期化する

本機やVC1の設定内容を初期状態に戻すことができます。初期化にはすべての設定を工場出荷状態に戻す方法とアドレス帳を残して初期状態に戻す方法があります。

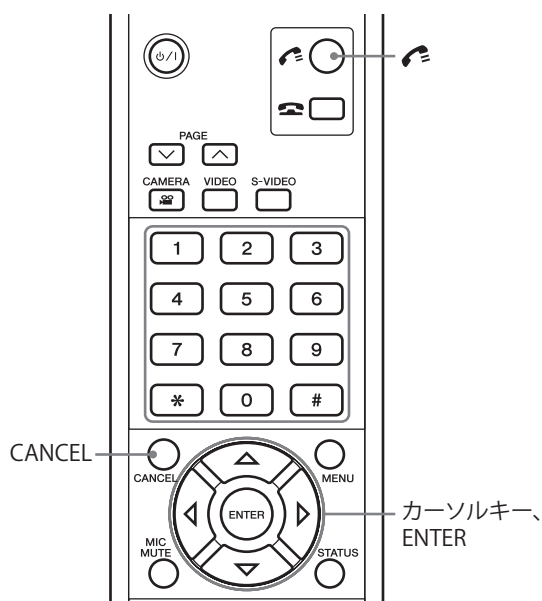
ご注意

設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合は、以下の点にご注意ください。

- 初期設定値が存在する設定は、初期設定値に変更されます。
- 通話履歴(41ページ)の内容も消去されます。すべての設定を初期化した場合は、アドレス帳(64ページ)も初期化されます。
- 操作を完了した後に、設定内容を元の状態に戻すことはできません。

リモコン操作で初期化する

すべての設定を初期化する



1 MENUキーを押して設定メニュー画面から「管理者設定」→「初期化」を選択する。

2 ▲ または ▼ キーを押して「工場出荷状態」を選択し、ENTERキーを押す。
初期化確認画面が表示されます。

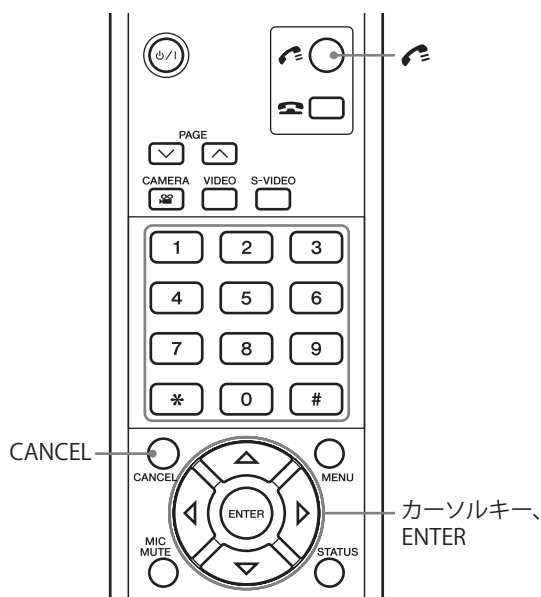
3 〻 キーを押す。

初期化が開始されます。

初期化をやめる場合は

手順3でCANCELキーを押します。

アドレス帳を残して初期化する



1 MENUキーを押して設定メニュー画面から「管理者設定」→「初期化」を選択する。

2 ▲ または ▼ キーを押して「アドレス帳を残す」を選択し、ENTERキーを押す。
初期化確認画面が表示されます。

3 〻 キーを押す。

初期化が開始されます。

初期化をやめる場合は

手順3でCANCELキーを押します。

本機やVC1の設定を初期化する (つづき)

「WEB設定ページ」から 初期化する

すべての設定を初期化する

1 「WEB設定ページ」で「初期化(出荷状態に戻す)」をクリックする。

出荷状態に戻す画面が表示されます。



2 「出荷状態に戻す」をクリックする。

初期化が開始されます。

アドレス帳を残してを初期化する

1 「WEB設定ページ」で「初期化(出荷状態に戻す)」をクリックする。

出荷状態に戻す画面が表示されます。



2 「アドレス帳以外を出荷状態に戻す」をクリックする。

初期化が開始されます。

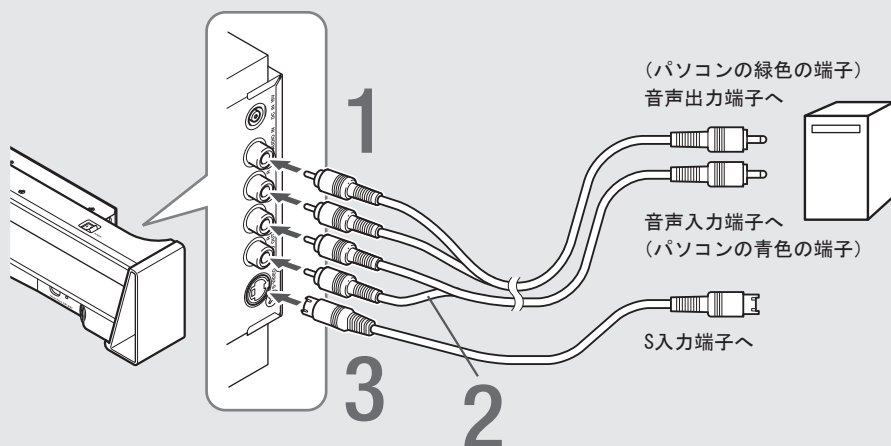
本機をパソコンに接続して使用する

接続する

パソコン経由でネットワークに接続するには、音声接続ケーブルとS端子ケーブルで本機とパソコンを接続します。市販の音声接続ケーブル(ステレオピン/オーディオミニ)を2本ご用意ください。

ご注意

- ・ パソコンにS-VIDEO入力端子がない場合は、市販のS-VIDEO入力ができる機器(ビデオカードなど)をご用意ください。
- ・ 以下の説明は、パソコンの入出力端子部分が色分けされていることを前提にしています。色分けされていないパソコンをお使いの場合は、お使いのパソコンの取扱説明書で入出力端子の機能と場所をご確認のうえで、適切な端子に接続してください。



1

本機のAUDIO IN端子とパソコンやテレビ会議システムの音声出力端子を、音声接続ケーブルで接続する。

パソコンと接続する場合は、パソコンの緑色の端子と接続してください。

2

本機のAUDIO OUT端子とパソコンやテレビ会議システムの音声入力端子を、音声接続ケーブルで接続する。

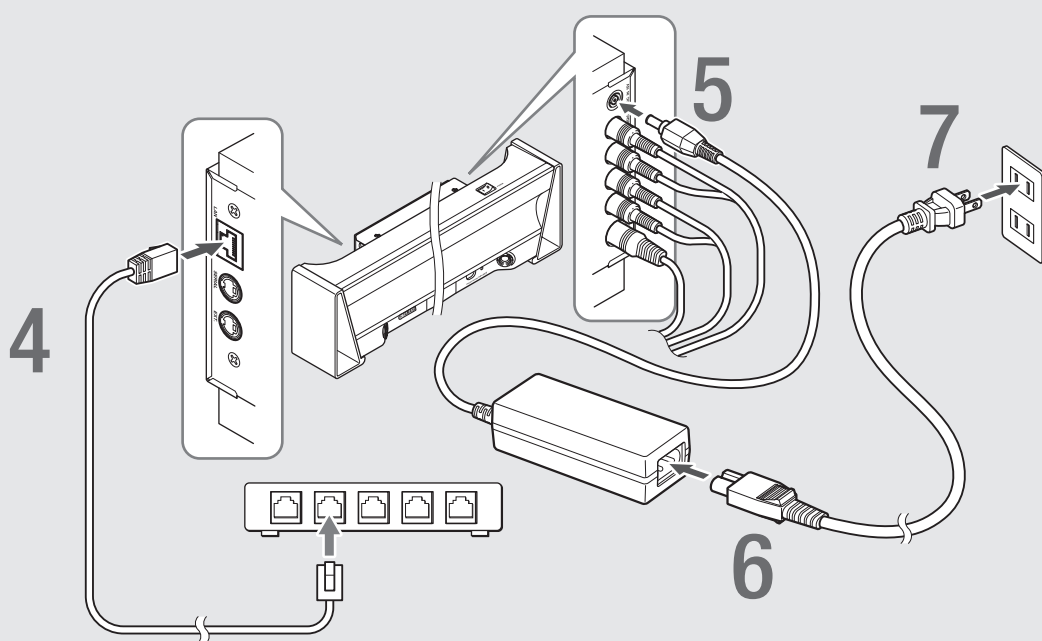
パソコンと接続する場合は、パソコンの青色の端子と接続してください。

ご注意

パソコンやテレビ会議システムの音声入力端子に接続する際は、マイク入力端子(パソコンの場合は赤色の端子)には接続しないでください。入力信号が過大になり、音質が劣化する可能性があります。

3

本機のS-VIDEO端子とパソコンやテレビ会議システムのS-VIDEO入力端子を、S端子ケーブルで接続する。



4 本機のLANポートとネットワーク機器（ルーターなど）のLANポートを、LANケーブルで接続する。



ヒント

本機をネットワークに接続するのは、WEB設定ページとリビジョンアップを利用するためです。

5 本機のDC IN 15V端子に、ACアダプターを接続する。

6 電源コードをACアダプターに接続する。

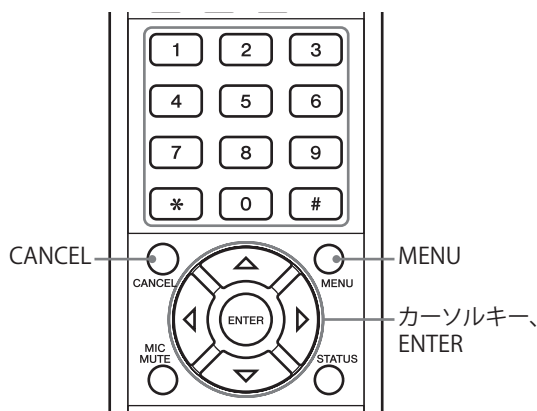
7 本機の電源コードをコンセントに接続する。

8 本機のPOWERスイッチをオンにします。

STANDBY/ONインジケーターが緑色点灯します。

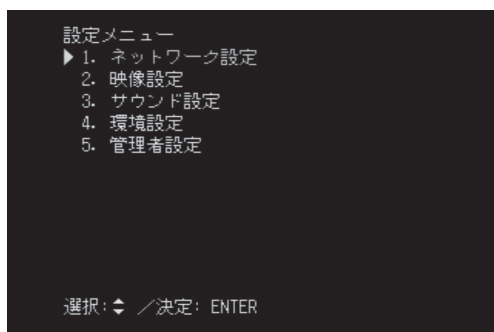
VC1 との連動を解除する

パソコン経由でネットワークに接続する場合は、以下の手順で本機とVC1の連動を解除してください。



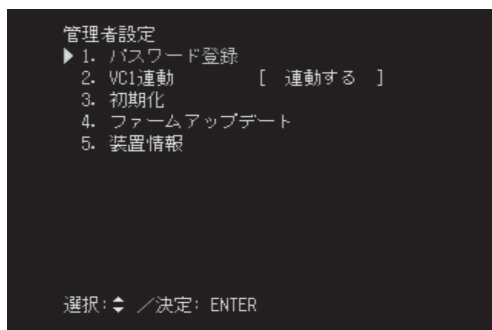
1 MENUキーを押す。

設定メニュー画面が表示されます。

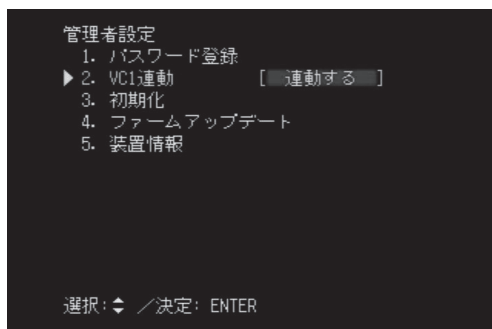


2 ▲ または ▼ キーを押して「管理者設定」を選択し、ENTERキーを押す。

管理者設定画面が表示されます。



3 ▲ または ▼ キーを押して「VC1連動」を選択し、ENTERキーを押す。



4 ▲ または ▼ キーを押して「連動しない」を選択し、ENTERキーを押す。

本機が再起動し、設定メニューが切り替わります。

パソコンの設定を変更する

本機をテレビ会議システムの外部マイクスピーカーとして使用するには、パソコンに入力された本機の音声が入力された本機に再出力されないように、パソコンの設定を変更します。また、本機の音声をパソコンのライン端子に入力するため、同端子の音声入力を有効にする必要があります。

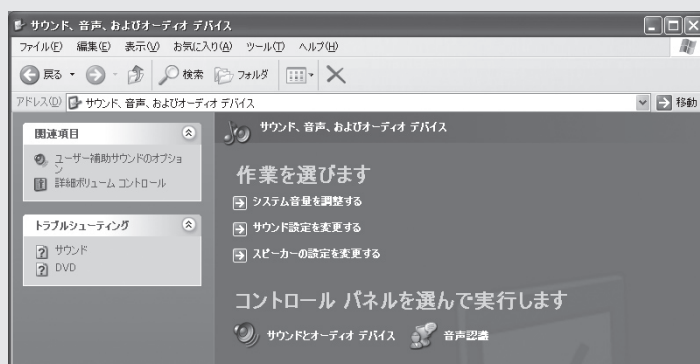
ここでは、Windows XP の場合を例にして説明します。

1 「スタート」メニューをクリックして、「設定」-「コントロールパネル」をクリックする。

2 「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」をクリックする。



3 「サウンドとオーディオデバイス」をクリックする。



「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面が表示されます。

4

「オーディオ」タブをクリックする。



5

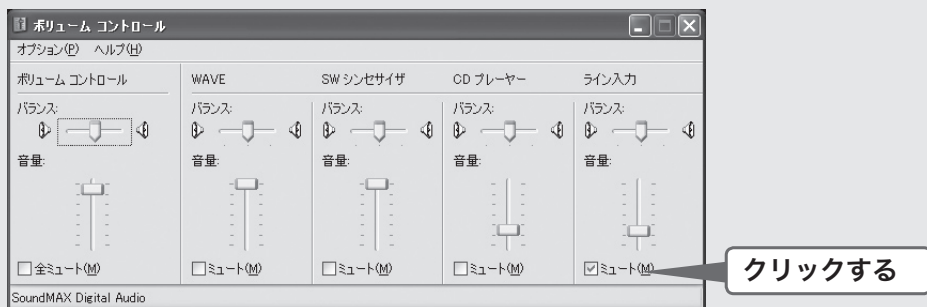
「音の再生」欄の「音量」をクリックする。



「ボリュームコントロール」画面が表示されます。

6

「ライン入力」欄の「ミュート」をクリックして、チェックを付ける。



7

「録音」欄の「音量」をクリックする。



「録音コントロール」画面が表示されます。

8

「ライン入力」欄の「選択」をクリックして、チェックを付ける。



本機の設定を変更する

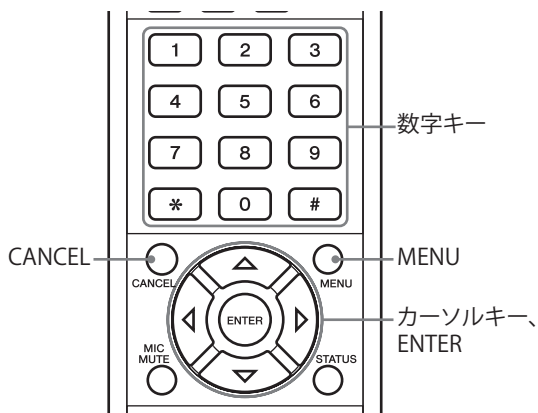
本機の各種設定は、リモコンまたは本機に接続したパソコンのWebブラウザを使って行います。以下の手順で設定を変更してください。

ご注意

- 設定を変更する前に「VC1との連動を解除する」(81ページ)を行ってください。
- 設定メニューの構成や各設定項目の内容について詳しくは、「本機の設定項目一覧」(87ページ)をご覧ください。

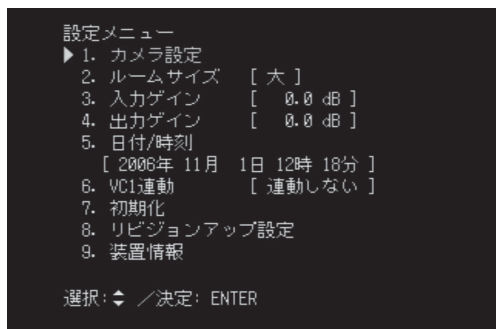
リモコン操作で設定を変更する

本体のキー操作で設定を変更する場合は、以下の手順で操作します。



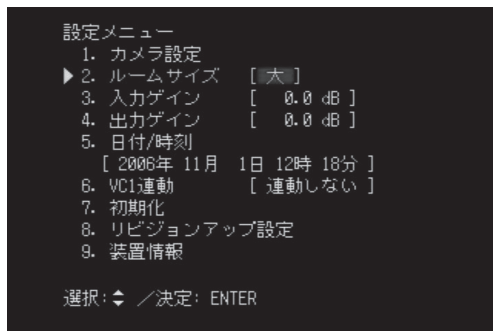
1 MENUキーを押す。

設定メニュー画面が表示されます。



2 ▲ または ▼ キーを押して項目を選択し、ENTERキーを押す。

下図は「ルームサイズ」を選択した場合の例です。



ヒント

項目によっては、ENTERキーを押すとサブメニューが表示されます。この場合、手順2と同様の操作でサブメニューを選択して設定を変更してください。

3 ▲ または ▼ キーを押して設定を変更する。または数字キーを使って数値を入力する。

ヒント

文字入力が必要な項目を選択した場合、文字入力画面が表示されます。文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

4 設定変更が完了したら、ENTERキーを押す。

設定した内容が登録されます。

設定を保存せずに前の画面戻りたいときは
手順4でCANCELキーを押します。

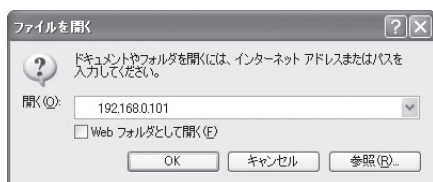
「WEB設定ページ」から設定を変更する

複数の項目をまとめて設定する場合は、パソコン経由で本機の「WEB設定ページ」を使用して設定すると便利です。

ご注意

「WEB設定ページ」で設定を変更する際は、Microsoft Windows XPまたはWindows2000を搭載したパソコンを使用してください。

- 1 本機の電源が入っていることを確認する。
- 2 パソコンでWebブラウザを起動して、「ファイル」メニューから「開く」を選ぶ。
- 3 「http://（本機のIPアドレス）」と半角英字で入力してから、「OK」をクリックする。



「WEB設定ページ」メイン画面が表示されます。



「WEB設定ページ」メイン画面が表示されないときは

「Q2:『WEB設定ページ』で設定できない」(95ページ)をご覧ください。

本機の設定項目一覧

本機をパソコンに接続して使用する場合、設定メニュー画面の設定項目は以下のとおりです。

以下の説明中のはリモコンによる設定、

はパソコン経由の「WEB設定ページ」による設定に対応していることを示します。

カメラ設定

会議情報を設定する

マルチカメラモード時の画面4に表示する任意のコメントを入力します。詳しくは、「会議情報を登録する」(71ページ)をご覧ください。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「会議情報」を選択する。

カメラとマイクを連動させるか指定する (カメラ追尾機能)

発話者の音声を追尾してカメラを切り替える場合は「追尾する」、切り替えない場合は「追尾しない」を選びます。初期設定値は「追尾する」です。

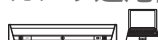
リモコンによる設定

設定メニュー画面から「カメラ設定」→「カメラ追尾」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「カメラ追尾」を選択する。

カメラ追尾機能のマイク感度を指定する



カメラ追尾機能を使用する場合に、使用環境にあわせて、マイク感度を設定できます。通常的环境下、「中」(初期設定値)のままお使いください。

- 高：小さい音にも反応します。
- 中(初期設定値)：通常時に指定します。
- 低：大きな音で反応します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「カメラ設定」→「カメラ追尾感度」を選択する

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「カメラ追尾感度」を選択する。

カメラ追尾機能の一時停止時間を指定する

カメラ追尾機能を使用する場合に、本機のカメラを手動操作したとき、カメラ追尾機能を一時的に停止させる時間を、「3秒」(初期設定値)、「5秒」、「10秒」から選びます。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「カメラ設定」→「カメラホールド時間」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「カメラホールド時間」を選択する。

本機の設定項目一覧(つづき)

ルームサイズ

部屋の大きさや使用環境にあわせて、収音範囲を設定します。初期設定値は「大」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ルームサイズ」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「ルームサイズ」を選択する。

入力ゲイン

音声の入力レベル(増幅率)を-12.0dB～+12.0dBの範囲で設定します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「入力ゲイン」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「入力ゲイン」を選択する。

出力ゲイン

音声の出力レベル(増幅率)を-12.0dB～+12.0dBの範囲で設定します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「出力ゲイン」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「出力ゲイン」を選択する。

VC1連動

本機をパソコンと接続して使用する場合は「連動しない」、本機をVC1と接続して使用する場合は「連動する」を選びます。初期設定値は「連動する」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「VC1連動」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「VC1連動」を選択する。

設置状態

通常時は「ノーマル」、本機の下を反転して設置した場合は「上下反転」を選びます。初期設定値は「ノーマル」です。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「設置状態」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「設置状態」を選択する。

初期化

本機の設定を工場出荷状態に戻します。画面の指示にしたがって操作してください。

ご注意

工場出荷状態に戻すと、各項目の内容はすべて消去されます。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「初期化」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「初期化(出荷状態に戻す)」を選択する。

ファームアップデート

本機のファームウェアをアップデートします。詳しくは、「最新の機能を利用する(リビジョンアップ)」(90ページ)をご覧ください。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「ファームアップデート」を選択する。

「WEB設定ページ」による設定

WEB設定ページから「PJP-300V ファームアップデートの設定」を選択する。

装置情報

本機の「シリアル番号」、「MACアドレス」、「ファームウェアバージョン」を表示します。

リモコンによる設定

設定メニュー画面から「装置情報」を選択する。

最新の機能を利用する（リビジョンアップ）

インターネットから本機の機能を管理するプログラム（ファームウェア）をダウンロードして、最新の機能をご利用いただけます（リビジョンアップ）。本機のリビジョンアップは、インターネットに接続して最新のファームウェアを自動的にダウンロードする方法（90ページ）と、ファームウェアを別途入手してから本機に手動で転送する方法（92ページ）があります。

ご注意

- リビジョンアップ機能をご利用いただくには、ソフトウェアライセンス契約に同意いただく必要があります。詳しくは「ソフトウェアライセンス契約」（100ページ）をご覧ください。
- 本機をリビジョンアップするには、直接ネットワークに接続する必要があります。

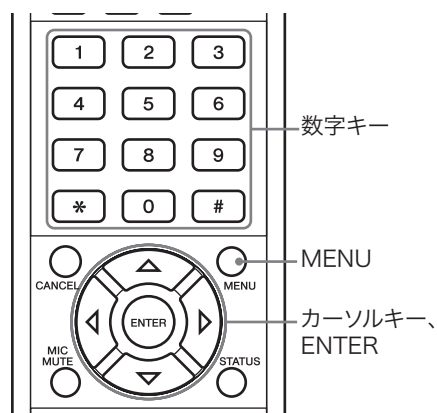
本機を自動的にリビジョンアップする

ご注意

- 本機がインターネットに接続できない環境にある場合は、自動的にリビジョンアップできません。「本機を手動でリビジョンアップする」（92ページ）をご覧ください。

ヒント

ファームウェア入手のための接続先を、任意に指定することもできます（91ページ）。



- 1 MENUキーを押して設定メニュー画面から「ファームアップデート」を選択する。

2 ▲ または ▼ キーを押して「アップデート開始」を選択し、ENTERキーを押す。

本機がインターネットに接続して、最新ファームウェアをダウンロードします。ダウンロードが完了すると、自動的にリビジョンアップ処理が始まります。

ご注意

- リビジョンアップを始めたら、完了して本機が再起動するまで他の操作は絶対しないでください。万一、中断したときは本機が使いなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。
- リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。
- リビジョンアップ中は、絶対にLANケーブルを抜かないでください。本機が使いなくなり、持ち込み修理が必要となる場合があります。

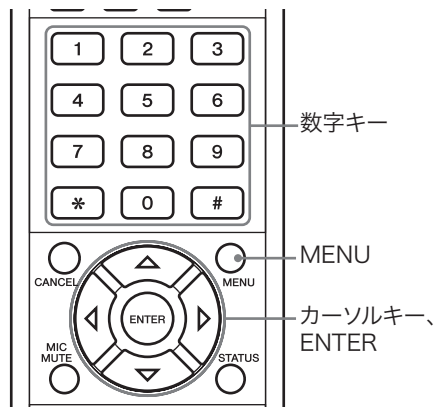
リビジョンアップが終了すると

本機が再起動します。

装置情報画面でリビジョン番号が更新されていることを確認してください。装置画面の表示方法については「装置情報」(53ページ)をご覧ください。

ファームウェアの入手先を指定する

社内で複数のPJPを使用している場合などに、各装置のファームウェアバージョンを一括管理することができます。



1 設定メニューの「ファームアップデート」を選択し、ENTERキーを押す。

リビジョンアップ設定画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ キーを押して「サーバー」を選択し、ENTERキーを押す。

3 ▲ または ▼ キーを押して「その他」を選択し、ENTERキーを押す。

4 ▲ または ▼ キーを押して「サーバーアドレス」を選択し、ENTERキーを押す。

文字入力画面が表示されます。

5 リビジョンアップ実行時に接続するURLを入力する。

文字の入力方法については「文字の入力操作」(53ページ)をご覧ください。

本機で自動的にリビジョンアップを実行する際に接続するURLが変更されます。

最新の機能を利用する(リビジョンアップ)(つづき)

本機を手動でリビジョンアップする

本機がインターネットに接続できない環境にある場合は、パソコンなどから最新のファームウェアを入手してから、TFTPを使用して本機にファームウェアを転送します。

1 現在のリビジョン番号を確認する。

装置情報画面でリビジョン番号を確認します。装置画面の表示方法については「装置情報」(89ページ)をご覧ください。

2 最新のファームウェアを入手する。

PJPのサポートページから、最新のファームウェアをダウンロードします。

PJPのサポートページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

3 本機の待受け画面を表示する。

4 本機にアクセスできるWindowsパソコンで、「コマンドプロンプト」を起動する。

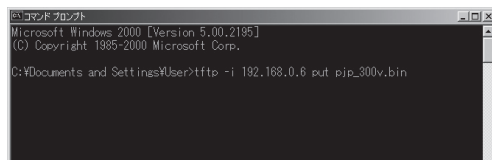
Windows XPの場合は、「スタート」メニューをクリックしてから、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンド プロンプト」をクリックします。

5 以下のコマンドを入力して、実行する。

tftp -i [本機のIPアドレス] put [ファイル名]

入力例：

tftp -i 192.168.0.6 put pjp_300v.bin



ファームウェアのバージョン確認画面が表示されます。

6 リモコンのENTERキーを押す。

リビジョンアップが開始されます。

ご注意

- リビジョンアップ処理には数分かかります。
- リビジョンアップ中は、本機の電源をオフにしたり、LANケーブルを抜いたり、他の操作を実行したりしないでください。本機が使えなくなり、持ち込み修理となる場合があります。
- リビジョンアップが完了すると、本機は自動的に再起動されるため、すべての通信が切断されます。

リビジョンアップをやめる場合は

手順6でCANCELキーを押します。

リビジョンアップが終了すると

本機が再起動します。

装置情報画面でリビジョン番号が更新されていることを確認してください。装置画面の表示方法については「装置情報」(89ページ)をご覧ください。

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

本書をよくお読みになり、問題が解決できるかご確認ください。

1. はじめにインジケータが点灯しているか確認してください

消灯している場合は

「Q1：LED類が消灯している」(94ページ)をご覧ください。

2. 発生した問題に合わせて、説明ページをご覧ください

- Q2：「WEB設定ページ」で設定できない(95ページ)
- Q3：通話できない(96ページ)
- Q4：その他の問題(98ページ)

それでも問題が解決しない場合は

サポート窓口までご相談ください(99ページ)。

Q1 LED類が消灯している

症状▶	原因▶	対策
インジケーターが点灯しない	電源が入っていない	• POWERスイッチがオフになっている場合は、オンにする。 • POWERスイッチがオンになっている場合は、ACアダプターおよび電源コードが正しく接続されていることを確認する。
	電源コードがコンセントに接続されていない	コンセントから外れているときは、正しく差し直す。
	主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている	• ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする。 • ブレーカーが「入」になっている場合は、一度「切」に切り替えてから「入」に戻す。
	停電している	停電中は、復旧するまで待つ。
	コンセントに電気が来ていない (他の電気製品も使えない)	• 他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼する。 • 他の製品が動くときは、本機の修理を依頼する。

Q2 「WEB設定ページ」で 設定できない

症状▶	原因▶	対策
「WEB設定ページ」を表示できない	本機のネットワーク設定が不適切	正しいネットワーク情報を設定する(30ページ)。
	パソコンのネットワーク設定が不適切(LAN上の他のパソコンやネットワークプリンタも使用できない)	• LANボードやLANカードの設定をやり直して、パソコンを再起動する。 • パソコンのIPアドレスをリセットする。
	不適切なLANケーブルで本機とネットワークを接続している	• 適切な種類のケーブル(ストレートケーブルまたはクロスケーブル)を使用する。 • カテゴリー 5以上のLANケーブルを使用する。
	本機が誤動作している	本機を初期状態に戻してから、設定をやり直す(77、89ページ)。
	URL指定が不適切である	本機を始めて使うときや工場出荷状態に戻した後は、「http:// (本機の初期画面に表示されるIPアドレス) /」にアクセスする。
	パソコンのWebブラウザでProxy (プロキシ)サーバーを使用している	• プロキシの設定が正しくないと、「WEB設定ページ」が表示できなくなる。 • Windows版InternetExplorer6の場合：メニューから「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」タブ→「LANの設定」を開き、「プロキシサーバーを使用する」のチェックをはずす。
パスワードを入力しても「WEB設定ページ」が表示されない	ネットワーク障害が発生している／ファイアウォールで通信が遮断されている	システム管理者に問い合わせ、ネットワークの状態を確認する。
	パスワードが間違っている(パスワードエラーが表示される)	パスワードは、全角／半角や大文字／小文字の違いも区別される。必ず半角の英数字で大文字／小文字まで正確に入力する。
設定内容が元に戻ってしまう	設定後に「設定」や「登録」をクリックしていない	「WEB設定ページ」で設定を変更したときは、必ず「設定」または「登録」をクリックして設定を保存する。クリックせずに画面を閉じると、設定内容は保存されない。

Q3 通話できない

症状▶	原因▶	対策
発信できない	IPアドレスを正しく入力していない	相手のIPアドレスを確認して、正しいIPアドレスを入力する。
	相手のIPアドレスが変わってしまった	相手のIPアドレスを確認して、正しいIPアドレスを入力する。
	通信がファイアウォールで遮断されている	IPアドレスを指定して発信する場合は、ファイアウォールを越えて発信することはできません。SIPを使用して発信する場合は、システム管理者に相談してください。
	ネットワーク障害が発生している	• 障害が解消されるまで待つ。 • システム管理者に相談する。
	通信プロトコルが異なる	本機の使用環境に合わせて、通信プロトコルを切り替える(56ページ)。
	本機と相手機のIP/H.323設定が異なる	IP電話番号を使用しているPJPと、IPアドレスを使用しているPJP間では通話できない。必要に応じてゲートキーパーの使用を入/切して、双方の設定を合わせる(57ページ)。
	アドレス帳に登録されているIP電話番号が正しくない	正しいIP電話番号を登録する(64ページ)。
	ゲートキーパーが動作していない	システム管理者に相談する。
	ゲートキーパーに相手のIP電話番号が登録されていない	システム管理者に相談する。
	本機と相手機のIP/SIP設定が異なる	SIPアドレスを使用しているPJPと、IPアドレスを使用しているPJP間では通話できません。必要に応じてSIPサーバーの使用を入/切して、双方の設定を合わせてください(58ページ)。
	アドレス帳に登録されているSIPアドレスが正しくない	正しいSIPアドレスを登録する(64ページ)。
	SIPサーバーが動作していない	システム管理者に相談する。
	SIPサーバーに相手のSIPアドレスが登録されていない	システム管理者に相談する。

症状▶	原因▶	対策
着信できない	相手が入力したIPアドレスが正しくない	相手に正しいIPアドレスを連絡して、再入力してもらう。
	通信がファイアウォールで遮断されている	IPアドレスを指定して発信する場合は、ファイアウォールを越えて発信することはできません。SIPを使用して発信する場合は、システム管理者に相談してください。
	ネットワーク障害が発生している	• 障害が解消されるまで待つ。 • システム管理者に相談する。
	通信プロトコルが異なる	本機の使用環境に合わせて、通信プロトコルを切り替える(56ページ)。
	本機と相手機のIP/H.323設定が異なる	IP電話番号を使用しているPJPと、IPアドレスを使用しているPJP間では通話できない。必要に応じてゲートキーパーの使用を入/切して、双方の設定を合わせる(57ページ)。
	ゲートキーパーが動作していない	システム管理者に相談する。
	本機と相手機のIP/SIP設定が異なる	SIPアドレスを使用しているPJPと、IPアドレスを使用しているPJP間では通話できません。必要に応じてSIPサーバーの使用を入/切して、双方の設定を合わせてください(58ページ)。
	SIPサーバーが動作していない	システム管理者に相談する。
相手の音声 聞こえない	相手がMIC MUTEボタンを押している	—
映像が乱れる/音声 途切れる	帯域が十分に確保できていない	通話に必要な帯域が確保されているか確認する(20ページ)。
	ネットワーク障害が発生している	• 障害が解消されるまで待つ。 • システム管理者に相談する。
	LANケーブルが抜けた/LANケーブルの接続が不安定	LANケーブルをしっかりと接続する。

Q4 その他の問題

困ったときは

症状▶	原因▶	対策
映像が表示されない	ディスプレイに接続されていない	S端子ケーブルでディスプレイと正しく接続する。
	音声会議システムの相手と通話している	—
音声の遅延が発生する	帯域が十分に確保できていない	通話に必要な帯域が確保されているか確認する(20ページ)。
ハウリングが発生する	本機の近くに物を置いている	本機のマイクの前にはできるだけ物を置かないようにする。
	反響の大きい部屋で使用している	• 本機のマイクの前を避けて、吸音性の高い物体を部屋に置く。 • 反響を減らすため、あまり大きな声で話さない。
カメラが頻繁に切り替わる	カメラ追尾機能が過敏に反応している。	• カメラ追尾機能のマイク感度を変更する。 • カメラ追尾機能をオフにし、カメラ操作を手動に切り替える。
「接続が正しくありません。」と表示され操作できない	接続が正しくされていない。	本機とVC1が正しく接続されていることを確認する。
パスワードを忘れてしまった	—	お客様ご相談センターに連絡する(99ページ)。

サポート窓口のご案内

お問い合わせの前に

本書をもう一度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できるかご確認ください。

お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

お客様ご相談センター

TEL : 053-460-2822

ご相談受付時間

9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

ソフトウェアライセンス契約

1. 使用許諾

本使用許諾契約の定めにご同意いただくことによりダウンロード可能となるヤマハプロジェクトフォン(以下、「本製品」という)用ファームウェア(以下、「本プログラム」という)はヤマハ株式会社(以下、「ヤマハ」という)がお客様に使用許諾するものです。

本使用許諾契約は、ダウンロードした本プログラム及び本使用許諾契約に基づいて作成された複製物に適用されます。

2. 再配布の禁止

本プログラムは、本製品の機能アップグレードを目的とした場合に限りダウンロードすることができます。不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブ・サイトなどにアップロード、掲示することはヤマハの許可を得た場合を除きできないものとします。

3. 複製物の作成

バックアップ目的及び、複数の本製品のアップグレードに必要な場合を除き、本プログラムの複製物の作成はできないものとします。

4. 逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルの禁止

お客様は、本プログラム又はその一部を、逆コンパイルし、リバースエンジニアリングし、逆アセンブルし、修正し、再使用許諾し、頒布し、二次的著作物を創作しないものとします。

5. 責任の制限

過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本使用許諾契約に起因するお客様側の損害について一切の責任を負いません。

6. 外国為替法及び外国貿易法による規制

本プログラムは、「外国為替及び外国貿易法第25条第1項」に基づいて規制される技術(役務)に該当します。このため、本プログラム、及び本プログラムをインストールした本製品の日本国外への持ち出しには、日本政府による輸出許可が必要となる場合があります。また、本プログラムの、日本国内に住所を持たない人への提供にも、日本政府による許可が必要となる場合があります。

7. 日本に居住する人への限定提供

本プログラムは、日本国内に居住する法人または個人にのみ提供されるものとします。

8. 日本国法令の準拠

本使用許諾契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。

主な仕様

外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

822mm×132mm×84mm

質量：

4.3kg (ACアダプター含まず)

電源：

AC100 V (50/60 Hz)

消費電力：

18W

定格電圧：

15V

定格電流：

1.2A

動作環境条件：

周囲温度 0～40 °C

周囲湿度 20～85 % (結露しないこと)

電波障害規格：

VCCIクラスA

LANインターフェース：

イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

プロトコル:IEEE802.3/IEEE802.3u

通信モード:オートネゴシエーション、固定設定

コネクタ:RJ-45

MACアドレス:本機ラベルに表示

極性:ストレート/クロス自動判別

音声入出力インターフェース：

ステレオアナログ入出力(各1系統)

コネクタ:ピンジャック

映像出力インターフェース：

S-ビデオ

コネクタ:S端子

内蔵カメラ：

CMOSカメラ(130万画素) 3個

シリアルインターフェース：

RS232C準拠 2系統

コネクタ:ミニDIN

オーディオ：

アレイ型マイク(指向性制御)

アレイスピーカー

点音源制御

拡散モード(モノラル出力)

音量:85 dB

周波数帯域(通話時)

300～7000Hz (ワイドバンド)

信号処理：

適応型エコーキャンセラー

ノイズリダクション

マイク/スピーカ アレイ制御

通信：

DHCP

付属品：

リモコン(1個)

単3電池(2本)

ACアダプター (1個)

電源コード(1本)

LANケーブル(1本)

ステレオオーディオケーブル(1本)

S端子ケーブル(1本)

取扱説明書(本書)(1冊)

保証書(1枚)

本機を譲渡/廃棄する際のご注意

本機を譲渡/廃棄する際は、設定内容を初期化してください。

ご注意

本機を譲渡する際は、付属のマニュアル類もあわせて譲渡してください。

保存されている設定内容には、アドレス帳や通話履歴などの情報も含まれています。設定内容を初期化せずに譲渡/廃棄すると、これらの情報が悪意のある第三者によって悪用されるおそれがあります。

初期化のしかたについては、「本機やVC1の設定を初期化する」(77ページ)または「初期化」(89ページ)をご覧ください。



● お客様ご相談センター

TEL 053-460-2822

ご相談受付時間

土・日・祝日を除く 9時～12時、13時～17時

お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

WJ29440-I